



磐水先生隨筆卷之三

○瓊浦紀行

將遊瓊浦偶題

曾抱千秋醫國業將酬萬里航海心

亞大臘山歌送大楓杉田二君遊長崎

王蘭堂主人

前野達

亞大臘山何唯々跋扈四洲壓華夷名山從來神所鍾僥
子往々此相期絕頂直凌三萬丈俯察好是盡地維指點
遙辨西洋海和蘭之國在其涯和蘭風俗何所見政教克
諧長不衰窺測天地奪造化百技妙絕皆中規東奧才子
大子煥稟性英邁天所施多年潛心和蘭學一朝忽指長

崎眉杉氏之子抱壯志千里同行不為疲江城立月烟雨
裡驛亭尊酒賦別離一情綿々不可盡為君新贖臘山詩
亞大臘山高無極壯心看君競雄雌到日長崎諧夙好海
外人物有明師罷効學成歸期逼瓊浦風濤鉛鰲時殊方
名山難可望坐見白日落崦嵫飄然矯首天地外忽爾一
笑共解頤唯有片心凌蒼化肯使名山獨擅奇

送大槐子嶠君同田士業遊摩崎陽

岡島伯雅

好音雙美願西征負笈壯哉遙遊情此行實堪酬夙志千
山萬木興縱橫岩峩美蓉從仰止羣峯兒孫列崕崿吐納
雲烟為變態三岸突兀挿大清輿轎杖策路彌邈行々回
首瑞氣生眼前游々千古雲相唱相和白雪聲或揚片帆

溟漲上提挈憑陵一葦輕沛瀉乾坤無端倪天吳陽侯護
彤廻噴沫鼓浪長鯨出垂天水擊大鵬未應懷浮槎犯斗
牛兼似驅石問蓬來渤海波連三楚浴筆紫雲接百粵岡
夕麗珠光照合浦朝暉蜃氣吐樓臺萬里風烟舊鎮西長
崎港上萬國舟欽風殊方歸禹貢仰德異邦朝西周珍寶
奇貨充足問華夷典籍須購求傾蓋異人多傑儂日攜酒
敘好獻酬知是雙美相切劘忘却書劍久滯留加餐自愛
君努力能修大業備千秋

奉送子煥平君從_庚侯駕之東都更同子業田君講
和蘭之擧於崎陽兼呈田君

關中卿

拜送使君車騎塵此行何用淚霑巾已傾盤井江頭酒更
憶武藏原上人雲阻三千里外路花開十五月中春俱勿

西極一源水墨漲東方起洞鱗

送大楓子嶼遊學長崎

前野達

霜落丹楓映客袍壯遊茲日氣何豪關西驛路三千里一

劍偏凌牛斗高

旅予好興志美都美都志丈夫乃旅

和也日代先かけの旅の心事

一鳳

暖風雅伯寺崎へりと送る

何仙

聞すあしと有りもちり江浦ある

男を生まく四方の走みよとはふれハ一坐を思
ひ立西進一佑りんと毛ト筋事あつまと殊衆
ト兼し夕立んちすゑんと思トす何不化

立りてきく跡立ちのびうだ玉の裏後古を
粒立りてアリ一筋の満た千萬の獨創大道正
氣成アリて蟹のやといひと道より蟹の縁もあリ
神の裏みえ移不争叶ん附り御りとも湖くお
いひ男の立とアリ切ツ取一時のアキハ燃
火と移かく事ルカ一さり旅禱ヒヒ乃アリ
殊迷あこまおもあめそのくまが身と社中のく
立りて後立道アリ崎へりゆひつれて惣

花舞種成ウシ

三义塾小集留別諸君分韻得八首
江樓留客兩唐々別酒興來好與題文歡今夜須盡醉明

朝遙隔白雲西

送子煥之長崎

朽木春世

西遊瓊浦地萬里復夷通好闇問天秘兼當吳客雄

同諸子送大子煥

鶴齋

壯遊休訖客心傷共對高秋勸別觴匹馬極今步熟市扁舟或是度寒塘天晴行慶山川勝風便寧論道路長欲及

師同採龍崖無何雙鬢已為霜

送大子煥

中川鼎

江東暫負歲寒盟壯志天涯事遠征萬里山川君自愛歸來花發競芳名

羨一參月色旅多牡丹

白画

尊師の厚恩片々猶ゆすかうアケマニ友

雄お姫め縁りの如院く一謝志のふ而かし
師の恩のあつしソ席の旅本 嘘夙旅人
社中のぐくへ

浦風ハ魚ごとくちうく友得 日

送子煥土岐陽

田勤

別恨與相思送君何可斷正隨潮水流偏向九洲滿
君追鴻雁去萬里赤南飛能逢四方志春來待北歸

我質の主モ時々送るども

霧のなくまのまく弓不常百弓の聲きれど
あゝ跡すありへ

四翼

不前うみか山毒乞乞阿ハ思ひ仰りく
乃く人を多の謝辭もすら山原も方和毒乞の里

竹

唐大和の多う。おとすに唐の方。うづく森の山

種成

駒元の未をへん

曉風

袖袂曳き布花咲く八年うな

旅立乃々曇り

江邊宿と曇霧の涙や初時而全

れまゝ夜と曇霧の涙や初時而全
戯場の主江邊宿の夜と月の色とも金と見送
りがてりやよいでと用よくあれとく

長旅と秋くめて友あんさ山神よ宿しの友

名の音

見廻りの夕へや多く宿

綿入季くやうて荷を車ん花衣

見廻りの人東溪仙翁

十月七日曉登三义塾晴快同行今昂伯元及僕伊三湘中
遊覧一為ナリ 戲囃子は縛るとて
焉とほい多所江の岩我縛ハ左もかりヤヨメ
玉浦

見廻りの人東溪仙翁

吉福ありて見ん日乃かの山ようつき見く
世よハ曉楓を愛一めれと

中くよ軒の照子か花紅葉

石川大佛お村田加ヒヤ奈良山く同行の人が侍
合も立ツ坂高の日野五谷七里半境人有る名前
觴ヲ酌ム於井下イヘル碑アリヨシ笑ヲ献ス戯場の
主ト名を記す

かとてお呑てひよやうお弁せ事福の江の岸玉
の江の島 大森村ニ至り尾巻ヲ訪ニ待受テ為
メニ酒肴ヲ設ク又離杯アリ即刻見送一人ニ別
ヲ告ク 鶯鶯館始メ同好ノ諸君へ申遣下

岩根山あけく 尾ん 和水 六郷ヲ渡テ川
崎ニ至り登舗金川木牧ノ入江ノ景色甚シ佳シ程
ケ谷ヲ經テ戸塚ノ驛ニ暮過ニ着シ惠美須屋伊平
力許ニ舍ル昨コベテ來リ待受タル同行墨屋麦四
郎ワレクヲ迎テ奈良ノ人ナリ 江戸旅宿本町三丁目新道越前屋清兵衛方ニテ奈良程ケ谷ヨリ此宿ニテ馬ニ跨ル二里九
丁ノ所ナリ戸塚ノ入口ニ屋臺ノ如キモノヲ設ケ
タル所アリコレ世ニ名ノフレタル戸塚ノ大金ガ

三十三回 忌供養ノ為メニ彼國ヲ寧メ此ニ掛ケ往
来ノ旅人ニ示セシトナリ戸塚ノ驛舎ニテ按摩ノ
瞽者ガ諸ルヲキケバ追福ノ歌謡諧奉納セシ人モ
多カリシトキ、テ

大金の音ハせんまゆヨヤカルヒ居テ唇ウカ
ノ波タラん

八月曉七時過若ラツ色藤沢ノ驛ニ着シ夜正ニ明ケ
ントスルヨリ兩降リ来ル藤沢ノ茶店ニテ伯元子
ト離杯アリ暫時ニメ別ル子ハ画嶋へ卦シ
此里ぞむかの魚一とハ若沢の君も序へ増
めナリ

角翁の如行

ある事と色香くら重よ屏風

別院と惜みく

別院か松戸が廻りあきい物すま

八日曉藤澤驛別大子宿

田勤

驛亭把袂駐君行回首關山月欲傾忽有曉風翻旅服
凜然相見不言情

藤沢若水とやつうよして物もうひのあアリ、十
一二と見(一)が馬の防ますと刀を施(一)せんとい
つく(一)あ(一)と向(一)無(一)あ(一)い(一)かと
いひー物がー上方のとて物からき(一)ひ(一)川
あ(一)れ(一)覺(一)ノル(一)をやせら(一)錢(一)りセ(一)
然野(一)うあつまし(一)あんどうやと思(一)さ(一)お

すすぎをやわい藤澤驛(一)馬(一)ま(一)う(一)川
川村とあんい力所(一)至(一)れ(一)左方(一)渺(一)々(一)渺(一)
あ(一)れ(一)ち(一)き(一)の(一)渺(一)長(一)く(一)渺(一)か(一)く(一)見(一)る(一)
伊豆(一)水(一)か(一)とい(一)向(一)の(一)浪(一)打(一)陽(一)う(一)う(一)偏(一)
くま(一)ち(一)く(一)見(一)ゆ(一)峰(一)あ(一)蝶(一)ヶ(一)峰(一)と(一)あ(一)ん(一)呼(一)云
澳(一)人(一)四(一)月(一)の(一)多(一)神(一)ハ(一)中(一)と(一)五(一)千(一)と(一)何(一)ハ(一)萬(一)瀬(一)ど(一)金
一(一)玉(一)絆(一)ま(一)う(一)と(一)ヤ(一)矣(一)起(一)う(一)峰(一)山(一)か(一)う(一)モ(一)れ(一)
え(一)リ(一)ニ(一)或(一)て(一)ち(一)入(一)川(一)風(一)吹(一)う(一)と(一)峰(一)す(一)か
ん(一)じ(一)い(一)ア(一)ヒ(一)若(一)重(一)因(一)け(一)人(一)お(一)を(一)う(一)て
出(一)を(一)玉(一)房(一)に(一)あ(一)と(一)事(一)取(一)引(一)く(一)牛(一)百(一)風
雨(一)萬(一)表(一)石(一)き(一)若(一)り(一)キ(一)満(一)と(一)城(一)く(一)平(一)塲(一)
か(一)つ(一)屋(一)鍊(一)あ(一)れ(一)大(一)機(一)急(一)く(一)牛(一)万(一)石(一)幕(一)い(一)

西ちの親磨七八人の回社事々 善福寺と立よ
うて見ゆる岩の上に左松鶯をす。左岸ハツ
カツ右ニ吉野寺山といふ而カツ裏裏錦のゆく
けの二月の花の咲く所一戸の満上是の坂の風色いか
車の音大樹の如きとウシホ所中のたり。見ゆ
所の水をあわせ時立所事ニキ風ウ遠江西川店
と候トモ多角正木建の前ノ右碑半面くあり
暫時登臨一ソウナ満上の風景トシ得在るカ地
カソ恨くハ魯平の像も多矣を至キを之れ
ナ酒匂川本郷ノ美時も小田原の旗城北伊
平ノソアタリ許の岩す。又ア所数十九丁とソカ政陀
袋衣敷方吉の源れたり此日の夜鷺大報苦至夜

風不止

九日夜中ヨリ晴日中折々風余程甚シ暁セツギ頃發シ
箱根山中山谷左右ノ断岸絶壁山ノ霜葉風景甚
佳ナリニ子山トイヘル山風色殊ニ面白シ湖水ノ向
ニ芙蓉ノ羊伏見ニル湯元川畠畠ナト、云所ヲ行
キスキ關門滯リナク通ル山中ト云所ニテ肥後世
子ニ逢フヤ田原ヨリ三嶋立乘輿此道中右ニ富士
左ニ大海隱見景色ヨレ伊豆駿河ノ境ニ小川アリ
豆ヨリ駿ヘ水ヲヤルキ貫戸樋アリ三嶋町中三嶋大
明神ノ社アリ暮後沼津ニ着入口左ニ城門アリ元
間屋伊左衛門力許ニ舍ル夜中大風
十日曉風止快晴朝六時發今井村ト云所ヨリ三人告

ニ馬ニ乗ル行シニ往ニ芙蓉ノ景色イハシカタナレ江
戸ヨリハ半伏以上白妙ノアラワレテ只眞白ニ見ユル
キナルニ此所ヨリ見レハ誠ニ夢色ヲ見ケシ恰モ冰
ワロシテフリカケタルガ如ニ左リニハ海ハ見エヌド
キリキシニ波ノウツ音キノユ此處ヲ過テ程ナニ原
ニ至レ昂浮シテガ原ナリ北闇景色獨佳也暫時酒
肆ニ憩フ鰻鱺ノ名物アリ

吾旅シ多めく駿河の多士の山見ルムハ高島、系
カシワ原沼見ユル午時吉原へ着ク富士川苗ル錢
屋某ト云宿舎ニ泊ル須原太郎女衛モ昨夕ヨリ此
驛ニ泊ルトテ相逢フ行厨ト、ノヘテ向フ町裏ニ
行テ富嶽ヲ望クニ景色佳ヘケレヨリ酉ノ町ハツ

レ松屋トイヘル酒肆ニ至リ三人共ニ酒ナド用ニコノ主
人風雅ノ人ト見ヘテ坐舎ノ作意頗ル業ニアリ程
ナシ宿所ヘ皈ル須原太郎女衛訪ニ来ル暫ノ閑談
大タベニ至レ凡富川ノアキタルサタナシ投宿ノ
明朝ヲ俟ツ

萬國旅人富水邊川留三日思芒然裸象園飽或櫻浦
賣妓賈脚散酒醉眠延頭顧盼止富先曳手徘徊町屋前
晴來此日川未發仰空咤果十月天

十一日快晴暖暁ニ至リ川ノ明キタルウワサナシ三
人相謀テ富士橋トイフ廻リ道ヘ行シトテ須原ニ
暇乞立過発シ所ハツレノ所ヨリ右エ行シ吉原在ニ
傳宝村ト云所千軒余ト云一里斗在ニ杉田ト云所ア

リ是桜田大人ノ祖先ナルベシ此間ツリバシテ田舎道
廿里迂曲轉廻上下ノ行ノ所ケニテ富嶽ノ景色
種々ニカワリテ面白シ星山ノ觀音ト云アリ十八
番ナリト云シバラシ行川ニ傍ニ西行ゴザカケ
杉ト云所景色ヨシニ人ハ乘輿余ハ徒行メ富士橋
ニ至ル此間富川ニ落ル芝川ト云川アリクリ舟ア
リ富士ヨリ流レ落ル川フジノリコノ河ヨリ出ウ
ト云コノ橋川ノ左布石壁断岸ノ所ヘ兩方ヨリ竹
ノツナラ引ハタシ幅七尺斗竹索ト栗ノ小木トテ
アエアリセ真中ヘニ尺斗ノ板テワタシタリ左布
顧ミスメ直ニ行ケハ危キイテ覺ス橋向ノ民家ニ
シハシ休ニ余ハコノ所ヨリ轎ニノリ由井ヘ行ク

此間四里ト云小川ヲ越テ山ヘ上リ上下轉動頗ル
嶮艱ナリ沼窪村ト云所ラスギ大ツモリ村ト云所
ニ疝氣ノ天神愛濟明王ナドノ祠アリ身延山ノ道
アリ會式前ナレバ參詣ノ人モ見ヘタリニ里余モ
行テ由井川ト云河原アリコノヘンヨリ日西ニ傾
キシカ月清朗左右山々景色ヨシ轎夫空腹ナリト
テ多言ナリシユヘ殺風景ナリ此道ツリハシハ危
シハ覺ヘ子比道路甚タ六ケシ再過スヘキ所ニア
テズコノ由井河原左右ニ往返三十遍モ川ヲ渡リ
又四十八瀬ト云フ甚々面倒ナリ入山瘤山ナト云
所ラヘテ暮半過由井驛藤屋又兵衛カ許ニ舍ル府
中ノ人同宿ス

十二日快晴明六時發程ナク倉沢ニ至リ宿ハツレノ
酒肆ニ立寄ル望嶽亭ト云額アリ富山ヨリ連リタ
ル海上ノ山、中ニ天城山ノ頂ヨリノ旭日景色甚佳
ナリ別ニ岡アリ

いつからり浦も日乃かも宿士の雪
シバラク行シテ數百歩ニノサウタ峠ノ風色ヨレ
旅ナク行キテ與津川ヲ渡リ田子浦向フニ三保見

ユコレハウワサ程ノ風色ナシ與津宿ニ至リ町ハツレ
清見寺ニ登臨ス景色ヨシ寺ニ韓人ノ書ニテ額
ニ板アリ岡ヘダーリテ讀カタシソレヨリ江尻ニ至
ルコレヨリ府中迄乗馬半里斗行キテ道ノ右傍ニ

田畠ノ中ニ姥ヶ池ト云所アリ坂ト云名ヲ呼バ水
沸出スト云試ミニ他名ヲ以スルニ又水ノキ上ル
各大笑スコレ木中ニ空鐘アリテ人聲ノ應スルモ
ノナラレ辛此ヨリ先キ左傍ニ草薙大明神ヘ行シ
道ニケ所アリ御朱印地ト云舟中ニ至リ御城ノ傍
モ見過シ名ニシアウニ町ニチヲ見ルニ其アリサ
ト都人ノ目ニテハ見ルニタヘズシカシナカア廓
門等アリテ家作リモ北梯ニ頗ル似キリ町ヲハナ
レ阿部川ヲ渡ル三瀬アリ四十八丈川ナリ富士川
モ今朝アキタリトテ拔狀使通ル川ヲ渡リ阿部川
ト云名物饒アリソレヨリ丸子ヘ行シトロ、名物
此宿ニユカ六千日回向アリ町中ノ寺ナリ富芝居

アリウツノ山ラ越テ固部驛ニ暮頃着木屋
カ許ニ舍ル

十三日快晴曉明前發暫シ行キテセト川アリセトノ
薄飯アリ權現ノイワレアリ藤枝宿ニ至ル町ノ中
程ニ田中エノ大手入ロアリ本多伯耆殿ノ領地ナリ
長キ宿ナリ町ハツレ鎧ト云所アリ右ノ川形アブニ
ニ似タリ鳴田ニ行クハ十八文川ナリ大井川三瀬ナリ
兼テ思フタル程危クハ覺スコノ川端ナク渡リ駿
遠此河ヲ以テ境トス金谷ニ行シ馬ニノリテ日坂
ニ至ル此間山阪多シ金谷ヲ歩テ行ク一數百歩
ニノ坂アリコレヨリ後ノ方ヲ眺望スルニ富山前
後ノ山々一帶大塊河ヲ見渡シ眼下ニ金谷驛ノ連

江戸を出で
あま幸の道
ヨリ人の御
亨子尼高
江戸回り先
う己上頬
歩事
後遠客宿
園又移別御
女あく胸
若柳子
てゆきをい
てゆアテア
ソアツコ
ノ石ナリ
縁起別ニ有
リ無間山右ニ
見ニ山段上下
ノ日坂ニ行ク
又馬ニノリテ
掛川ニ行ク
掛川ハ參
ウ未タロウト
キツヨウヒシカ
婦入多々あ
却ニ云々を
か年代りと
サヌ」とソノ
伊勢ナ上ツ
ダナと云
ト云内ニ舍ル

久神御子也
さう着方
西行船北
(船を取の
西行舟南
(船をねら
あがゆうけ
真喜よお
エヲウソロ
云々

十四日朝曇細雨乍歇曉ラ前袋井驛ヲ発シ馬乘陰山
右ニ有リ見附ノ臺ニ日本左衛門カ獄門ニカケラ
レシ所有リ見附ニ着キ程ナシ町ノ傍ヨリ直道ヲ
行テ天龍川ヘ出ル頗急流ナリ瀆松ヘ着井上殿領
地一都會ナリニ方荒神ニテ舞坂ニ行舞坂蛇吸物
アリ所ノ名產トイフ船ヲ借ル乗合拾貳三人舟中
風穩ニシテ暫時御闕所前ニ着シ中山屋孫次郎ト
イールカ許ニテ名產ノ鰻鱈ヲ給ベ荒井宿ヲ出ル
町ハヅレヨリ小坂ニノボリ左ノ方海見ヘルハク
ナノ橋シカエ坂行過キテ暮時白須賀ノ宿壺屋興
兵衛カ許ニ舍ル

十五日快晴晚カ前發ス猿ガバシバ明前ニ通ル遠參

ノ境ニ橋有此道中右ノ方ニ三河富士見ヤリニ川
ニ着キ左ノ方ニ崖ノ觀音見エル岩上ニ建タル立
像ナリ一丈貳尺トイフ貳十年前江戸ヨリ立ルト
云九郎吉田ヘ着シ松平豆卅ノ城下也船町川崎屋
立戸衛門トイフカ許ニ立寄リ伊勢船ヲカリル相
談ス255尾州領ノ鳴日間加ノ文次席トイフカ船
ナリ亘ノ内旅裝解キオロシ舟中ノ調度シテ日ノ
暮ル、頃吉田川ヨリ舟ニ乗ル橋ノ上ナリ炭ヲ積
タル船ナリ此川汊入ニテ两岸ノ風色時コソ望人
川崎トイフ所迄貳十里トイフ河口ノ圖別ニ有リ
两岸參仲ノ諸山見ヘテ岸ニ在處多シ東岸前芝村

トイフ所有リ

津風吹送一扁舟山碧沙明江月浮縹渺金波天如畫
薩朝直下參河卅

扁舟一夜下江干風搖煙波月色寒自是山陰門外興
勝情何讓子猷看

葦のしさの風よりせく漕く舟乃月よりさへ老る
を季風の月の三河乃葦むすびあきらか伊勢の
海岸

老の月かけて舟あく志田川

時を多月もまんまる舟の空

夜モ成ノ刻過キニテアカヌ氣色ニ目モサヘテ寢モ
マラテ右ソヌ以ノ刻半ニ河口ヲハナレ帆ヲアケテ

海原ニコキ出セリ左右少シク隔リテ山々嶋々丘
リニ參河ノ作ノ島尾張領ニテ日向加藤嶋岸嶋龜
嶋右ハ官師崎ナレドヘル所々敷ルニ暇アテベ
亥ノ刻ハカリニ薄闇引カフリテ若眠リヌ次第ニ
風ソヨソ船動搖ツヨク快クハ得チムリカ子ヌリ
十六日曇宇津ラレタル内ニイツカ夜ハアケハナレ
タリト吹キカ起シ侍リシニ四方ヲ詠クレハ伊勢朝
熊ノ諸山見ヘタリケリ夜ノ間ニハヤ十里余モハ
シリタリトコレヨリモ風色コキ行クニ徃ヒテ面
白シ岸ニ程千カクニ見ノ浦見ヘ大淵川崎ナトイ
ノ浦く舍レル舟モアヘタ見ヘタリ申ノ下刻半ニ
大淵キカクコキ寄レハ舟人ニ情ヲ商フ妓女アヘ

タメ舟ニノセヤ哥ウタフテコキ行ヌイトヲカシク
モアハレニ覺ヘヌ程ナシ大凌ニ着キ船主ニ暇乞
小舟ニトリノリテ田尻ナトイフ所ヨリ貢軒菴屋
トイフ所ヘ暮ル、頃漕着ス此入江甚タ奇麗ニシ
テ水清クシテ海底ミヘスキタサレノケシキ甚タ
ヨシ釣舟杯アベタアリ貢軒菴屋ヨリ田舎道貢十
丁斗過キ行キ、山田妙見町和泉屋市名傳カ許
舍ル菴田、手紙遣ス留主ナリ

十七日晴朝トシ起キテ三人トモニ内官ヘ参詣ス此
間四十丁ナリ町ノ行過キテ合ノ山ニイタリミカ
物モラニイトカシニシク神前ヘ拜札事畢リテ程
ナシ下向ス丑十鉢川キレイナル川ナリ四ツ頃宿

ヘ歸リ食事調ニ直サニ旅装ヒシテ外官ヘ参詣シ
山田ノ地ヲハナレタリ山田ハ諸州ノ人ノ會集ス
ル所トハイヒガラ誠ニ一大都會ナリ宮川ヲ渡
リテ小畠ニイタル鳥羽領ナリ立並ヒテ宿屋多シ
ソレヨリ阿ケノカ原新築屋明淨カ菴屋梯田川
打越ヘク程ナシ松坂ニイタルコレ又名ニシテノ都
曾ノ地ナリ三井カ本家ナリ町ノ中程左リノ方ニ
有リ大家ナリ松坂過缺ヘテ一里程先キ六軒菴屋
小津屋トイフ所ニ舍ル此宿ニ妙趣向有リ
十八日快晴朝過キ六軒菴屋ヲ發シ月本雲津ナシド云
所ヲ歷テ津ノ都下ニ至ル七十石町ト云町ノ中程川
アリ右方ニ海見ヘル行厨トノヘテ行一千里一身

田ト云處ニ至ル高田御門跡アリ大きナリ町ノ内ニ娼
家アリ椋木林葛原ナド云所ヲ過キテ暮前闇ノ驛芳
野屋甚カ許ニ舍ル此夕墨屋ト離杯ヲ酌ム明朝奈良
路ヘ別ルレハナリ

十九日快晴曉卯刻發ス丹ノ庄傍園ノ地藏伏レ拜ミ町
ハツレ庄リノ方甲山トイヘル方ヘ奈良人ハ行ク又逢
ア春ト別レテ告ケテ二人ハ本海道ヲ行ク坂ヲ登ル
一暫時坂ノ下ヲキ過ギ左リニ鉢鹿社アリ頗ル峻峻
ナリ此所勢ト江トノ國境ト云ソレヨリ田村川打渡
リ程ナク道ノ右傍ニ田村大明神ノ鳥井アリ道ナ
カテニアレオカニ土山翁ニ行ク轎夫ノ物語リニテ
聞ケバ田村ノ本社ハ鉢鹿山ニアリテ此社ハコウザ大

明神ナリト云フ閑ヨリ坂ノ下ノ間ニ古法眼筆捨山ア
リ霜葉ノ景色甚ヨシ土山ヲハナレ飴ヤキトリ杯ノ
名物トイヘル在焉アリ水口ニ至ル入口左リニ川アリ
加藤殿ノ領地西ノハツレニ陣屋アリ水口細ニラ商
フ市塵多シ暫ク行キテ横田川トイヘル舟渡シアリ
此所ヨリ右方ニ三上山見エ節ニミナルハゲ山ハカタ
イジ山ト云スベテ江州ヲリ京近ノ山ニ多クハゲ
山ナリ砂ニテツキ歩シタルガ故ト云鎌倉時多梶原
ノ領地ニゾアリシトナリ八十石萬ノ地ナルガ百万ノ
キコヘアテシトヲ欲ノ一俵ノ米四斗ニ升ト定シト
ナリ今ニ此國ハ年貢米モ四斗貰升ト云ノ馬士ノ
談ナリ黄昏ニ及テ石部宿ニ着ク出場屋甚カ許ニ

舍ル

廿日快晴朝迄晩七半時頃ニ宝荒神ニ乗リテ船入梅
木村和中散三四軒何レモ大家ナリ朝半過草津
驛ノ酒肆ニ過リシバシ休ノ此家ノ向ノヤ高キ所
ヨリ木曾ヘ別ル道アリ此驛ヨリ矢橋ヘ行ク一
里行ク湖水ヲ舟ニテ大津へ渡ルコヽテ渡レハ道ニ
三里ノ益アリト云湖中丘右ノ景色巌山三井寺見
エ向フニ膳所ノ城見エ大津モ見ヘ渡ルナリ九頭大
津ニ着キ京入リラ急クニ里行キテ京伏見ノ追分ア
リ右ハ山科諸山丘ハ逢坂山日岡山見エ道ノ右ニ
蝉先社アリ日岡ノ下ニ木食上人ノ庵アリ牛車ノ
タメニ布シキル右ダンアリキ芦杉ナント多所ヲ過キ

テ蹴上ト云所ニ至リ暫シ休ニ栗田口打通リテ京
都三条和泉屋次郎兵衛ト云若舎ニ着シ荷物等ハ宿
ニ託シ旅中ノ一ニテ三条橋手前ヨリ繩手通四条
芝居大佛清水極園ヲ歷覽シ暮方宿ニ飯ル

廿一日快晴朝飯後案内者ヲ頼ミ堀川通上長者町栗
山先生ヲ訪フ御所ノ邊ヲ偏覽シテ堀川ニ行ク先
生ニ面會シテシバテク物語リ種々饗食シアリ後藤孫
右衛門ニ逢フハツ後宿所ヘ飯ル同伴ノ人戯場ヘ行
キタリト跡ヨリ行キテ見ル幕方飯ル忠臣蔵ノ狂
言尾上新七ガ梅幸三回忌追善ノ由良ナリ

廿二日大霜寒迄晩七時發シ伏見ヘ行ク桃町屋某カ
許ニテ淀舟ヲカリ大坂ヘ下ル舟中八幡山崎ヨリ

大和和泉ノ諸山見ユル陸ハ一筋ノ長堤左リニ淀
ノ城水車アリ大坂テカシ城見ユル七ツ半過八軒屋
トテ所ニ着シ暮時平野町一丁目少西長兵衛カ許
ニ至ル日野屋ハ今夕直ニ境ヘ飯ル此夜ヨリ大坂
滞留江戸ヲ狀出ス 大坂ニテ夜中時ヲシラブル
ニ市中大鼓ヲウツ。今日近道中十五日ナリ

廿三日快晴昼後主人案内ニテ御城ノ廻リ京橋口大
辛筋玉造口ヨリ真田山元イナリ玉造田園ヲ偏歷
シ實相寺ノ紅葉見テソレヨリ天王寺ニ至ル諸堵
多シ大伽藍アリ道風ノ額アリソレヨリ清水參詣
景色ヨシ大坂一瞬ニ見下シ海面アラハレ千帆海
原ニ見ヘ淡路嶋河内諸洲ノ山々見ニヨキ風色ニ

○何ソ云テカト
再時言アリ
江戸ニテソウ
シタモアラ
一カト云意

ト通スル様ニ

○娘ライト云

小娘ア小赤ト
キヲカニサート

イフテ御寮

人様云其女

母ヘケレハ

脚家様ト

○コーキヤサカヒ

キヨウトヒト
エライトダン

ナイト云辭多
ト云ヒ一通
ト云ア筋ト云
フロコレハイ
カンモバヂヤ

暮過扁所ヘ歸ル夜中少西次郎兵衛ト云人訪フ此
家ノ別家ナリ。且ヨリ状扁シ

廿四日快晴朝飯後主人境ヘ用向ニテ行シ四ツ後北堀江
兼葭堂ヲ訪フ山本町須原屋彦太郎カ宅ニ過リ須
原太郎兵衛エノ傳説ヲ頼ム主人氣腫ニ患フ一診
ラ乞フ矢点シ盡ス酒食ノ饗食シアリソレヨリ堀江
ヘ行シ平戸侯在駕アリ勿ム主人ニ面ス即時飯ル
坐摩宮ヨリ道頓堀也土助カ戲場ヲ見ル慶子カ藝
ヲ見ル七十四歳ノヨシニ慶鑄ナリ暮時飯ル
廿五日快晴少西權兵衛来ル少長木家ノヨシ兼葭堂
訪ニ來ル暫時開談アリ昼後ヨリ天満天神ヘ參詣
大歸リガケヤ權ヘ寄ル夜中積痛針治ヲ頼ム淡路

ト云フ一向

マシタイチヤ

ト云

ワケヨシニタ

ヨイアノバイニ

シタト云フ

ジヨウシシテフ

イタト云フ

アタカラス

クイト云ア

イラヌアナキ

ヒシテトキ

ヲイワレンフ

ナサレベシテ

トカ

ホタルバサ

ハクフナリ

町ニ住スル多城トイヘル針科ナリ
廿六日快晴四羊頃ヨリ北堀江兼葭堂へ行ク雅談ア
リ暮過迄物語ル珍品ヲ見ル奇説モ多シ毛兒狼徳
亞ノ地志ヲカリ来ルユ後帰宅
廿七日快晴毛兒狼徳亞地志一角訖写ス針治訪来近
隣ニ藤江鴻平トイヘル醫生ナ杜ニシテ博覽強記
ノ人ナリト物語ル○境ノ日野藤来ル暫シ談話ス○
晝後ヨリ主人案内トシテ道嶋ノ承市ヨリ大融寺
一見ニ行シ此寺ハ融ノ大臣創立七塔伽藍ノ地ト云
昔時炎上ノ今其遺跡存ズ暮頃庚ル出掛途中ニテ
齐村吉備門ニ逢フセツギ羊鳴與力町トイフ所ニ火ア
リ乍樓滅ス

廿八日晴木村ヨリ手簡到来ス一角訖テ譯ス晝ヨリ
江戸狀認ル境ノ日野清ヨリ鮮魚ヲ惠ミ来ル暮前
ヨリ幕葭堂へ訪フ投宿ス夜中清談アリ兼葭堂名
ハ私恭字世肅北堀江立丁目ニ住ス今茲齡立旬十
リト云

廿九日晴夜朝ヨリ午後ベテ談詰ス支那西洋 本邦
ノ諸奇談七ツ半頃歸宅

晦日快晴主人ノ小女ムカワリナリトテ祝ニアリヒス
テ行フ兵庫船主_{鳩屋彦四郎}木村ヨリ頼ミ遣ス
ハ子代浮き花の茶_{トタフ}色_{トタフ}と考_{トタフ}而_{トタフ}
く_{トタフ}かかん
玉からくと難波の事_{トタフ}考_{トタフ}考_{トタフ}考_{トタフ}考_{トタフ}考_{トタフ}

さくやこう花

めでたさよりかむかわうの税井酒飲んで歸とのひる葉や
むかわう税井食あり終日一角説ラ譯ス小椎ヨリ梓第一斤来ル○小西次郎兵衛来ル宴會酒筵アリ

霜月朔日快晴小西次郎兵衛へ手紙遣ス九月次郎兵衛来ル午後十椎来○蒹葭堂へ手紙遣ス使不帰内ニ先キヨリモ手筒到来夕方十西次郎兵衛、訪フ即刻帰ル

二日快晴一角志譯文稿卒業○兵庫船主來次郎兵衛佗行ニ付後刺来ル筈ナリ○蒹葭堂訪ニ来ル暫時談

話ス餓別三種ラ惠ム○船主再ニ来ル主人對談船賃三十錢ナリ○江都狀認メ出ス○小次郎来ル○初夜ヨリ宗兵衛同伴シ小滝ラ誘ロ順慶所ノ夜市ヲ見過キテニユウエヌタード蒹葭樓ニ登ル別記アリ曉飯ル

三日快晴主人安治川ヘ行シ○洗湯ヘ行ク即刻飯ル○昼舗立フルトイノ膳夫ナリ「アホンドノウ、ルホイル一人カ四グラクヘ余ナリ、ティホイスヨリフリー」ヲ贈ル○夜中三四種ノ餓アリ初夜前日鼎清来ル同船一人ナキ出船ラ訴ル故ニ明暎船主ヘ聞十ガテ斯ニ遣ス○大坂小長逗留此夜迄十二夜十三日ニ四日朝霜晴早朝新藏湊橋ヘ行ク徳島屋船乗組無キ

由ニテ帰ル〇四噴ト次郎へ行キ峠料便頼ム留主申
置直ニ北堀江へ行ク途中ニテ使ニ逢フ萬霞堂暫
時玄談日本因ヲ惠ムヘルシベキニウム繪數十枚
ヲ見ル新譯萬國圖見セル〇大和法隆寺秘藏多羅
葉梵文、寫レアリ、**播州**明石船頭天竺德兵衛カ還
羅ヨリ持來ル多羅葉梵文、寫ンマリ、**播州**明石船
頭天竺德兵衛カ還羅ヨリ持來ル多羅葉ノ邦晉ア
開テタルモノト見ヘテ中ニ先ニアリ十枚余持渡リ
シカ多シハ散失シテリ其一枚ヲ彼地ノ船主ヨリ得
タリト云甲辰夏靈運院ニテ京都泉涌寺ノ開帳ニ
出セルモノト同物表裏ヘカリ付タルモノニ還羅
國字ナルフ疑ヒ十三談話ノ羊ヘ宿ヨリ人来ル長

行キ

崎峠料今夕出帆ノ由々暇乞帰ルト次郎へ頼ム
〇江戸状認下ス〇小次郎弥頼候由ニテ為知走ル
旅裝ヲ調ア峠料宿横堀サメヤ忠兵衛頼ミタル峠
料ハ菊屋仁兵衛トソノトナリ、今夕首途ノ纏
シ膳夫酒宴アリ〇鴻ノ地別家新シヤ市兵衛内玄
作トイヘルモノ新地ノ兼毒カヨト云者ト相對死ラ
シフコチ召捕レ今日ヨリ三日於高麗橋サテ川ノボ
トリノサテシモノキナトウストハナレサリケリ余
モ戲レニ唐大和高麗橋ニ名ヤ立シテモアタラシ
ヤソレモヨイカヨ〇初夜過船ヨリ迎人来ル兵庫
魚屋傳兵衛船ナリトシく端ノ人ニイトモヒシ

立出ルト次席ノ下人翁ノ若者小鶴小奴ハ次見
送リトテ共ニ出ル櫓堀殿ヤヘ寄リ菊仁ニ近付ナ
リ直ニ凌橋ヘ行キ上船大舟中送リノ人ニ別レテ告
シテ長留別ノ心ヲ

而ヌチ毎日十蝶アリテトニキセハ、ト氣も喜び
帰リテ鷦毛ヒ申遣大舟中人ヒ心安クナリ此夜コ
ニ宿リヌコノ所乗合トモニ拾一人トイフ明タ出
帆トゾ

立日朝曇、右四噴座摩ヘ行戯場一幕見ル稻荷（モ行）
程ナリ飯ル浪華圖彩色ス留主中木村ヨリ手筒井ニ
メモリーブック来ル今夜晚ニ向レトソ備前屋九兵衛
乗組ム崎陽人ニテ今大坂ニ住ス船頭魚屋清八傳兵

衛、其父ノ名ナリ外三人松右衛門又木七兵七

六日朝曇折ニ兩衣歇四後メカリノツツ國字ヲ付ケ兼
葭堂ヘ持テ行フ留主ニヘ申置キ飯ル午後江戸堀邊
火アリ直ニ撲滅ス七噴残リノ荷積アリ同船ノ人ニ衣
エッ羊噴乗組ム何レモ長崎最料サカマ町菊谷仁兵
衛升内舟屋與兵衛式地町山口惣次郎スワノ町友
永恒藏都令三人ナリ

七日朝晴立羊噴出船左右安治川向ニ船手御番所川
口ニハ萬國ノ商船舎ル右ニ兵庫ツキノ山ニアリ甚
岸、船多ツナグ乱机アリ海上景色甚佳ナリ七後
兵庫ノ湊ヘ着商船夥シアリ家居多シノ要港ナリ
夜中人形芝居ヘ行シ此寄ノ諸大夫俊徳三座等ノ

狂言アリハツ噴帰ナリ

八日朝曇曉前兵庫ヲ出帆ス右ハ兵庫ノ山ツキ鷹取
山一谷敦盛ノ墓見ニ左淡路嶋山海中ニ居流ム遙
ニ紀州加田ノ岬見ユル此嶋ト一谷山トノ間ヲ舟行
ス上、下ノ布帆夥ク海面ニ浮ム○ニ子ト云所ヘ舟ヲ
ヨセ筑前博多ノ人ヲノセル此所ハコノ人ノ故里ナリ
トイフ町家ノ隠居上方帰リナリト聞エ右明石ノ岸
ヲ通ルヨキ風ナリセ後舟暉ノ氣味アリテ呑吐ス
氣ヲ靜メテ熟睡ス晝後ヨリハ浪ノ勢ニ余程強シ
乍去風順ニノ衣中高砂赤穂モ漕キ過テ晚チカク
下津井ニ至ル

九日快晴曉過白石瀨ノ邊ニ至ル左リニ海中ニ居ナカ

レタル四國ヨリ所在ノ嶋山見得渡ルヨキ風景也
伊豫イワギトイフ所大坂ヨリ赤間関迄百三十里
里ノ半分道トイフ安藝ノハナシレトイフ邊ニテ日
暮ル夜中ニタテヒ、イツキ合ノ嶋哥崎伊豫ノフタ
ガニ力山口周防ノ上関杯トイフ所ヲ漕ク夜中屢程ツ
ヨク覺ヘヌレトモ順風ニシテ能走ル

下關着岸余十日晴曉室積ト云所ニ至リ夫ヨリ天狗崎中ノ廻新
泊、三サキ元山豊前ノ龜ノ渡リ口ヘサキ杯云所見ユ
神龜山ハ幡長ナトイフ所見ユル風強ケレトモ順ニ
シテ日暮前赤間關ニ着浴湯月代等ヲスル備前ヤ
九兵備ハ此里ノアミジキト云处ニ留ルニ子ヨリ同

船ノ梅ヤハ俚雪ト俳名ヲ称シ博多縣所ニ住ストテ
夜中雨

下道中十一日終日雨至晉晴時下闇ヲ發シシテベギレ巖流嶋
海次兵衛ノ磯内裡前田ノシビヘナセ杯云處ヲ見過
キテ明半喰小倉ヘ着雪見山トイフカ所ニテ旅裝ヲ
調フ俾雪ハ此所ヨリ別々立ツ後此驛ヲ發シ黒崎ヘ
行シ壹里半程行キテ豊前筑前ノ境石有リ右ニ海
隱見ス此邊ノ在所石炭ヲ燒シ塗中臭氣アリ黒崎
長崎屋市兵衛トイフカ許ニテ晝舗コレヨリ木屋瀬
迄山坂有リ暮半喰長崎屋源兵衛カ許ニ舍ル
十二日風晴朝立喰發シ壹里程行キテ川渡ニアリ木
屋瀬川トイフ異名夷シ程ナシ能方ニ至ル古ハ筑前

豊前筑前ノ道中丘右壁
子侗妻シ
筑前筑後ノ間ノ言語長
崎吉葉ニヨカロウヨカ
タスナカッタ
カタシ一人ヘ
二人アテア
リヒテリトキ
大キルナフ
トイチイサ
トヨカナ
カト唱ヘサ
ヨヒヨカ
カモト云
委ナリヨク
トカ
キツヒモノト
キツヒシカ

一分地黒田安藝殿ノ城下ナリ五万石ト云木家嗣
ナキユヘ福岡ヘ阪テレテ序城址宿ハツレニ在リ
美賀大神ノ社右ニ在リニ軒席屋小立香袋片科杯
云令ノ宿ヲ經テ飯塚ニ至リ長崎屋^{平次}某カ許ニ
テ雇舗調ヒテシトウト云合ノ端アリ内野ヘ暮後
ニイタリ隅ノ屋大庭長兵衛カ方ニ舍ル此道中
老朽大明神ノ社ニヶ所アリ内野入ル大手前ニ宰
府ヘ行シ山道川ノホトリニ有リ

十三日昨夜中風曉雨霏々明過内野ヲ發ス寒甚
シ左水峠ヘカカル登リ頗ル難所有リ左布ノ山嶽風
色ヨシ山中所ニ昨夕已來余程雪ノツモル所モアリ
雪の空げヌ左水の名ベテシ

モニト云コア

タラコナント云

ロルニモノハ兄

カモント云セベ

カゼノヒロカセ

ノナドスナリ

オカミサント云

ヲオカツヤシテ

シ奥州ニテ書

ヲオカタト云

ユレニ同シ紀

サニテモ言フヨ

シ古ヘ何方々

北ノカタトヨ

ヘシヨリキタル

言ト風見

ナリ

イハンハキカン

ハトヨリヲイ

ハニバ・キカズ

ハクシバナト云

トニゼントガラ

ニツゼントツメテ云ナリ

名ム一例の准也嶺電
始れど身豆汗ぬケレヒ山が
准也嶺ノ弟屋ト云处ニ暫ク休フコレヨリハ下坂ナリ
程ナク山居へ着キ行厨ト、ノヒ同伴與兵衛力室府
ヘ参詣タルト云ニ伴ヒ兩人乗駕メ室府道へ出ル此
道田畠ヲ過キテ山間ノ道際ヲ行シ多クハ平地ナリ
程ナク到着大境内樟ノ老木多シ心ノ辛ノ池ニテレ
カシノ橋ヲ渡シ手前ニ石ノ鳥井アリ橋ヲ渡リテ
樓門アリ神前ニスカツキ折願大脛梅右ノ方玉垣
ノ内ニアリ諸堵多シ前後左右弟屋アリ官中聯ニ
連アリ

千里麗梅萬世流馥一衣生松百代増綠

左ノ方ニ家唐門前所アリ石ト銅ノ鳥井アリ右ノ脇

松崎宿長崎
東庄衛門
住吉の弟前
屋利在門

長崎宿坊ハ野但馬力許ニヨリ梅ノ守リテ拜戴シ酒
食ノ饗アリ此間前ノ通りハ博多ヘノ道ト云コノ
處ヨリ二里アリトナリ夫ヨリ始ノ道へ出テ山居
出ハナレノ道ニ出ツ石ビツト云处ニ休フコレヨリ松崎
エ行クヒ熊ト云处筑前筑後ノ境石アリ途中ヨリ
日暮レテユッ半鳴松崎ニ着ク先行ノ輩暮喰ニ此宿
ヲ此ルト云大轎夫ヲカリテ夜通シニ府中ト云处ニ
至ルハ半唄ナリ朝餉ト、ノヘ既前發シ朝ケ半唄住
吉ニ着

十四日快晴午朝住吉ニ着ク大寒准ナリコノ處ヨリ舟
ヲカリ諫早エ行ク土地ノ船主徳右衛門ト云モノナリ
一艘ハイサハメ船ナリ此川筑後川ト云フイサハメ迄

此川ヨリ海上廿五里ト云此河水濁水ニシテ底ク淤泥ナリ
右ハ肥前戸ハ筑後兩岸ニ兼島ナリ上方ノ大船夥舗ツ
ナフ暫ク漕キテ中洲兩岐有リ右ノ方ヘコク向ニ肥前
ノ高良山見ユル左ノ方ニ若津瀨口村小港有リ舟カレ
右ノ方ニ若津ト云处見ニ夜中ハ眠リニ就テ景色ヲ見
ス此夕月清朗ニメ風光イワシカタナレ蓬萊礁ナ月ヲ望
ニ愀然トノ百感生テ故園ノ心動ク○此河ニムツブロウ
トテイモリノ如キモノアリ○刀称坂東太郎阿州芳野
四國次第筑紫三郎ト云第ニコレナリ激レニ
次第ドリセドモカレ左席アモ水キシムキドムシ物
ノシシ海

立あけくり坂東太郎源、まく西のちんとす佐

ヘーニ幕
夜明ケテ丘リニ嶋原ノ雪仙カ嶽右ニ肥前ノ多羅山見
ニ朝平曠イサハヤ、川口ニヘリ廿四ノ嶋イサハヤノ多荷
宿甚カ許ニ着シ即チ

廿五日曇四頃ヨリ兩次第二甚シ至夜大雨四ツ前諫早ラ
発ノ矢上、行ク此間廿十丁一里廿里ト云山坂多シ
大村海見ヘルヨキ景ナリ貝津古河ト云所ヲ過キ矢
上ヘ九ツ頃着行厨コレモ多荷宿ナリコレヨリ日見ヘ
行此間ヘサシカ、リ坂ノ上ヨリアバト云濱見ユル猿
師瀬ナリ一方、牧嶋福員三馬ノ牧アリトキノコノ海
嶋原ノ方エツキタル所トナリ坂ノ上ヨリ風色画裏
、如ノ好景ナリト此濱山ノ麓ヨリワツカサレ出タル

晴陽滯留記

所ナリ折々大浪ガコスコトアリ其時ハト云モノヲ以テ家居ヲ覆フトナリ長崎へ出ス魚物皆此瀆ヨリ運送スト云フ七ツ半頃日見、着程ナシ此驛ヲ發シ日見峠嶮峻ノ山ナリ急シ石坂ナリ一里近カモ登リテソレヨリハ下坂ナリ此大兩闇黒ニメ大ヒニ苦メリヒツ時長崎ニ着詠訪ノ町友永恒藏カ許ヘ着フ旅裝ヲ解キ同家ニテ酒食ノ齋食ヲ受テヒツ半頃元木ノ宅ニ至リ父子面謁ノ寄宿ノヲ乞ニテ投宿ス外浦町ト云处ナリ十月七日發東都至今日三十八日也

十六日雨晝後ヨリ歇午後稻部移十席來ル暫シ物語ル三好甫盛来ル相供ニ舊キヲ語ル旅人届ケ寄食等

○素見ラコニテ
ハ至リト云フコ
ノハスデアリ也
トヤ
○長崎家無ニ
銀場石ト云モ
ノラノキ下溝
ニカクコハ姓
古唐人町宿
ニテアリシ片
交易銀子
其町ノオトナ
タリトマソヨリ
オトナ家石
ノ石ラート稀
ス今ハ通ゾイ
アコトナレリ
血口枕石トモ
云ソノイワレ
モアリ

○一時何く云
辞アリ先ツト
云キミナリ一子

十七日晴當家並ニ被義事首レトテ拂拂ニ有リソーント暫蘭ハナレハシメル七ツ後主人當直ニテ出嶋ヘ行ク衣ヲコメテアシル日ノ夕方迄ナリト云フ。ドロンコ来ル片日稻部ニテ旅人届方ノ相談シタル由左序タヨリハ暫シ稻部名トウツモリニ同人案内ノタメ来ルタ方酒有リ先ヨリブリーヒ並ニ迎ノ人来ルユツ前此家ラ出テトロシコトトモニ西上所トイフ所松カ家ニ至リ此タヨリコニ舍ル父ノ名ハ羊藏ト

ト云フ平

キツウニサリ
ニミタロウト云

ハニンドウコ
サリニシタロウ

云所辛
出ルト云ル

ト云
オソロシ一オ

トロシイト云ソ
ノヨウニハソノ

カニコノゴニ
ヨイハナト云

トハ何シフハ
何程ナリホ

云所ヲ共ト云
ナカバト云

都テハト云所
ハト云ヨウニ

腹ヲカクハ
腹立ツナリ

ト物語ス
十八日快晴主人ウラルステルシーンニ行ク樓上入江ヲ
見晴ニ好景ナリ別ニ圖有リ家ノ後口ハ唐寺
寺ニ奇ニ四大ヲ新撰ス暮方元木子来ル暫ク舍ラ
當家ニ投宿サスル頼ニ並ニ届方為相談来ル半藏ヘ
對談立チ頃帰松不帰故ニ

十九日朝左晴午後雨松重出嶋ヘ出勤江戸状認メル
夕方薛利兵衛来ル唐方宗門改メノ役ナリ年行司ト
云フ明ノ亂ヲ避テ来タル唐人ノ末ナリト云旅人
方ノ事賴ム

廿日朝雨歇晴冬至友水来ル松ノ叔父ナリ薛利兵衛

人ガ来ハセヌカ

雨ノナリセヌ
ケノ所ヲ人レシ

雨バシテス
カトイフ

○見ヲバセウ云
○元テ梅ル作

ルトキ出レタ
ツルニカルヲ

ル娘ラゾ
タバツギンモ

カレセテウタ
イトキフ

孟ゴワイ
モノカキタ

モトヲアウヨ
政陽氏モ陽
リトイヘリ陽
基明ノ美ニ
銭立ツナリ
スナヨナリ

旅人方ノ事賴由ニテ來ル町ノ長ヘ書付岡ス○元木
ヨリ鮮魚到来スドロレコ来ル○暮後薛ヨリ至至
團子製作由ニテ呼ニ来リ行ク卓子ノ饗食シナリ四
半頃歸ル

廿一日快晴松出嶋ヘ行ク朝飯後風呂髪結ニ行クドロ
レコ来ル夜中九頃近主人ト雅談

廿二日朝雨終日曇ドロンコ来ルセキタラ恵ムスバ
ルレデシテ出勤昼舗風呂行^キ薛氏ヲ清川多平次

来ル懇意ニナル即刻帰ル家内他行夜中午次席ヨ
リ日時計テ惠ム

廿三日雨スハレボーム在宿七後午次席ヘ尋ヌ出嶋

ノ地主也薛寄ル留主ナリ老人櫻馬場ヘ行九頃帰

カヒメトラフ
サメ形エイ始
レ
短ノチ長クテ
トナフ所長
ノン短アント
云
アゲルア毫
下賤見下
モノコトヲ
シコーナレテ
イカレテ、ヲ
カレテトキ
ナヘスニハク
日行事、行江川安卒ト、ノソ此所ヨリ下役案内ニテ
戸障チ、鎮
スラセシ、セイ
テトキ
シャツチ星非
エトノ意、
ズワルヲイドレ
アヅラヲイタク
甘四日晴午前曇雨主人出嶋、行、暮後明日旅人方、
可出由申来

廿五日昨夜中ヨリ風雨九前暗朝飯後風呂、行シ四噴
ラ
日行事、行江川安卒ト、ノソ此所ヨリ下役案内ニテ
戸障チ、鎮
スラセシ、セイ
今町旅人改方、行キ稻部ヨリ請令脣往來持參役人
出令申傳有リ早速清直ニ庚リ日行更並組頭某、
ヘヨリ帰ル町内乙名宿甚丑右衛門、挨拶、行キ薛モ
アヅラヲイタク

テメトキ
下駄ノモノテ
ワガトコテ六
イガワレガ五
所ナリ
煩アタク
トカイタウ
カリース
ノウテハ春
テ也

為知ニ寄ルハッ後トロレンコ来ル、服部大助見舞ニ来ル
○ドロレンコ案内ニテ櫻ノ馬場ヨリ外浦町へ行シ元
木當直留主ナリ平戸町へ尋吉雄、面謁登樓酒宴
有リ阿蘭陀坐舎日ヲ驚スニ堪メリ勘定方本村宗
次郎ニ逢フ暮半喰帰ルトロレンコ送リ来ル日向土
世ノ初生来ル

廿六日朝飯後赤髮刺下シ墨俗ス、主人ヲ頼ム、四後ト
口レコ来同人案内ニテ諷訪社唐寺ニ、寺松、森天神
一參詣社、廻り職人類、彫物甚古雅ナリソレヨリ
寄合田角力番、行キハケ峯ニ達フ大徳寺ニ竹庭中
ノ見晴甚佳、目下、唐人屋舎見ニ長崎中眼下
ニ見下シ好景ナリ此山ヲ下リテ外浦町元木一寄リ

面會直ニ暮前宿所ニ帰ル主人同轍川原平井備ニ
逢フ今夕報恩講一兩輩會集夜食饗シ有リ左助
達智櫻馬場也○日行度ニスラ遣ス

廿七日朝霜立朝飯後外出新町到地町酒屋町諏訪町
鞠屋町元糸屋町平戸町波戸場外浦町等、行暮前
帰ル霄ノ内鑿泉寺五和和尚トツヘル安心ト軍談
トノ法談ヲ聞テ

闕ク原角泡モカクの涉談りあうや何事
左レ長さき。元糸屋町ニテ漂着ノ韓人ヲ見ル唐
船壹艘着岸

福濟寺^{山海大觀トイホ}庵ノ旨^テ頼
廿八日朝左朝飯^後薛行シ留主也旅人方ヘヒスラ遣大
福濟寺一見シ東北ノ邊巡見シ昼時至ヨリシフル

船壹艘着岸

○夜中解舟書ノ咄^{スル}○<sup>福濟寺聯額萬里雲帆輶輶一周
三界分明</sup>廿九日朝左快晴朝飯後月代風呂今町ニテスル平戸町
ヘ行キ暫時ニノ外浦町、行^キ晝噴帰リ雇舗調ヒソ
レヨリケレイト調ヒニ行キ後藤町ヨリ持来ル三貫
文ニ調ヘル再び出テ木古川町堀紋ヘ行シ留主也暮方
元木ヘ寄リソーントカツ噴迄物語小川町伊三次ト
ツレ立帰ル

十二月朔日曉晴立前兩川渡ノ朔日トナフ弟季候市
中ヲ通主人ノ小女誕生ノ日ノヨシ雪仙來出會ス夕
方風呂ヘ行キ夫ヨリ松薜同伴ニテ福濟寺ヘ登臨
大暮方歸江戸狀認ル
二日朝左晴朝飯後平戸町ヘ行和蘭正月也後藤高木
スケ上ソタル
向他國ヨリ
リ慶隆正
スケ上ソタル
有リ実ニ崎
陽景境
三方山ニ包
三方海眉
リ怡ニ凡口
如山^ク自ラ
唐^ク都^ク有
コウナリ岩
何モ維^クソ
ビニ樹中折
上ヨリ枝葉レ
左ノ唐繪ニ
似タリカ^ニ山
谷^ニ色^ニ日
レ^ル人^ニ氣^ニ歸
暢^クル方^ニ平
安^ハ多^ク願^ク
リ慶隆正
向他國ヨリ
スケ上ソタル

ヨウナリ壹

尺ニ三寸ニア
ル長キコウ
カイヲナス幅
モニロシハ教
テラウル如

等ノ室内まゝ板ノ間坐舗コロートターフル大小通
詞中間並ニ出嶋ノ名等ナリ酒宴至也刺音曲等シ
坐舗ハ料理其外ノ調度蘭ノ通ナリ投宿ス

朝夕膳ハ
家ノ事ナト
一ワモノヌ
リタニ三方ニ
カヘリノ暇を
然ハト云ヲ
下界ノ男女
共ニシカレト
ノミ云フ

大イ方ヲト
カトキイサイ
オソカト云
頬ヲツウ
腹ノ痛ヲ
セト云フ

四日朝晴立曠ヨリ大風兩叢雲降雹降リテ勢如鐵炮
八後ヨリ歇暗風午後ヨリ外浦町ヘ行立所調物ス
暮方帰ル薛ヘ行ク立曠立叫ス

立

日朝涼晴朝飯後平戸町ヘ行クドロシコニ達夫ヨリ

江戸町猶十ヘ行キ暫物詰リ波戸場立身衛ヘ寄ル
唐人船ヨリ上ルヲ見ル第九番船ナリコレヨリ外
浦町ヘ行ク立曠迄開談大夜中兩
六日朝晴折々微雨朝飯後外出懷中挑燈調ノニ々六
夕友水ヘ寄ル月代スル雇喰歸リ又出平戸町ヘ行
キ無程外浦町ヘ行ク暮方コフシヤ町ヘ行キ又元本ニテ
立過迄物詰リシテ帰ル
トクトク
トウエスモノ
デゴサルチ
ヨカバツン
テナイ案内
トウエブン
件
トウカナ
オキハリサ

サムクテコハクテ
ト云所ニサクウ
シテコウラニ
テト
龍葵ヒタツ
石葦山スミレ
ナムソニ親父
バホウムスコイ
カロウ負
トウシエノ上
暑ナリ
ヨクキヨイ
人ヲサシテ一宦
トモコレハ唐
人ツギヒヨリ
書ナリ復ヨリ東ノ方山ヲ下リ浦上トテノ所、出此

八月昨夜中風雨今朝大風昼ヨリ晴晝前風呂ニ行昼後
外浦町ヘ行ク役場夜中折レ風雨主人媒約ニテ女夫連ニテ出ル
九日雨陰晴不一元木供ニテ出島ヘ行キ和蘭住居見物
スシロガウヲ始テ見レアシア同袍ノ國ノ人故ニメ日
本人ニ甚タニカシ大小諸通詞ニ逢フ暮時宿帰ル
誘引ニテ門生不残金毘羅参詣道ニ風色ヨシ崎陽
大村時津ノ渡四方ノ諸山見金程ホ開キテ高キ
山ナリ石岩ニ黄檗木庵ノ書ニテ不凡山トキリツケ
リ初ノ桐前ニハ石門アリ華藏界トツノ董愛山
道頗ル險レ胡羊亦唐羊白蘭羊等ノ小屋民家ニヤ

蒲官藤官ノ如レ津川口ヨシ
ナカシラハシリ酒タルロタブヨカコトシテハヨヒヨリコトシテハ
用意ヨシテウラヨウ何ノ何ヲノトキ
女人ヲ呼ニコヘト時アサエラフ、古置クト云
イカテト古ソシケンデハソレ故ニテ
オニアイシ十三日晴午朝ニ前若帰ル其跡ニテ暫ク酒宴有リ
十二日在中ヨリ朝雪朝飯前ヨリ元木一詰レ賓客百人
余ト云ア賛入幕過九過帰レ無程縁ナツニテ舅入有
リ通夜宴饗食有リ里方會所役人田中源次右衛門、養
女ナリ一市ナサ由元本ノ主新枕アシマシ雪脚スルハ
いわシミクシ白妙シロモチ物、和子房の花聟曾の花瓶

風大ラハシカ
麻大ト云ヘ

ハツ時帰ル

○アハニハカ
○アバラ中國ノ
○アバラ人ラヌ
○アバラ三枚タ
○アスト云フ故
○事有リ
○ニナイサルコ
○セニダコバ
○ラトモ
○四角ヲカタ
○テトモ
○メシシルフモ
○ルヨソウト云
○处ラツグト云
○フメレツキノ
○ツクナヘルベシ
○クワセルラク
○セル
○ナガシラハシ
○リ

十四日朝晴朝飯後外浦町へ行ク終日居ル片夕帰ナリ
陶キナリヒツ過帰ル吉鳴左十郎ニ達フ
十五日晴月蝕朝飯後平戸町へ行キ卯刻元木へ行キ七
ツ時後立在留ソレヨリ築町兩國屋河野意仙ヲ訪フ帰
掛ケ名村元次席へ寄ルヒテ嘆息帰ル留主中元木父
子訪ニ来ルヨシ○周倫ヨリ蘭眉再カリ來ル

十六日朝霜左飯後平戸町へ立寄リ即刻外浦町へ行
シ終日在留暮前櫛十へ行キヒツ嘆息帰ル

十七日朝晴朝飯後平戸町へ行ク病者取扱ヲ見ル昼舗
周倫同伴ニテ昼ヨリ梅ヶ崎唐人屋舗ヨリ船ノヨウ
大ラ見ル修理アリテ唐人多シ舟中ニアリ故ニ見ル

スワシソース

アレツキフミ
ツギラバレコト
云フ元蘭語

ナリ床ラ蘭

ニテステー

パンクト云

ヨカトワガト

アトカトナド

トハ所下轟

ナルヘニヤド

イト同レ

ホラケ

エーヨジナリ

ヘスタイ

四ツヨリ一
セウ

キヨウ日

カノカナク

テ許サズ帰リ掛ケ堀門清河へ寄ル各留主ト云元
糸屋町ニテ高麗人ノ草鞋ヲ得元木へ寄ル夜ヒ過
帰ル

十八日昨夜中ヨリ雨朝飯後洗湯昼嘆在宿九ツ過河野
意仙秉吉雄連ニテ觀藏ノ舉アルヨシ為知床屋舗
後平戸町へ行キ十五六人ノ連ニテケレキトブラ
一ツノ頃ヤキ場へ行キ刑尾解剖ノサシツアスル庄
腎ノ通リ腸傍ト思シテ大園子ニ程ノ大キ
ガノモノ有リ解テ見レハ稀木出タリ袋ハ薄キ膜
ナリ所謂奔豚トモキヘキ者半同觀ノ諸子ニチカ
ツキニナルモノ多シ赤穂神吉耕菴ト云フモノニ達フ
志村藏ニ別懇ノヨシ夜九ツ過帰ル藤

ト云フカサ
アカクサ
○セハラニイ
○ニガツタキ
ケレ
○カコカラキタ
ヨカケ
○行シラホル
○イナベキ
○エビカ子

十九日朝左雪風至夜甚朝早々外浦町へ行シタ方ヨ
り出嶋供ニ行シ此夜泊番故余モ投宿ス衣来筆者
福縣平太郎ト物語ル其先ハ福縣ノ人ニテ祖ラ陳
長利トキノ後陣長右衛門ト稱シ今福縣トナル住居
訟訪所ナリ

○アユナイ
○ジマウタ
○サウタ
○サカシイ
達者矣
○ソコシナ
○ワグトウ
大ガハ
○ナバ草
○ウソソラ言
廿日朝雪風雨コクボイズニテ豕ヲ殺スヲ見ス牛頃カ
ヒタシニ逢フ吉雄堀門元木引合セナリソレヨリ
シユールコープノ部屋へ行キ主人及ヒ来春ノ筆者
ヲウナストプロレスベルゲナル者ニ逢フ西吉郎兵衛
ト狼意ニアル暮前外浦丹へ帰ル暮後上町へ帰ル
○外浦町へ大坂狀届ク江戸ノ音信ヲ聞ク
廿一日朝晴朝飯後平戸町ヨリ外浦町へ行シ暮方帰ル

○アロブ
呼ヒ叫ヒ
○啼ク
○オゾム
メノサメルト
○ラメザトウ
ソッテシナ
ソウチナ
○ミヅイ可憐
○アセガル
○馬場^ノ路
○トウテゴ
大コソ更
○大村^ニテシツ
ヒセレ^ニトハ
トキア
産搬^ノセレ
キウトキ
備節^ニテジ
ギツテトキ
○シツケラ
廿二日朝雪霏雪夜未江戸狀大坂狀認ル九ツ後微雨外
浦町へ移リ表ニ階ニ住ス稻部凡三十四日
廿三日朝兩折^シ霏雪昼飯後平戸町へ行キ西上町薛ト
平次郎へ尋松家ニ立寄松ト四ツ頃迄物語シテ帰ル
此夜桶巻ニテ年番凌レノ振舞有リ主人父子被招
深更帰宅朝ノ内御役所被為召
廿四日朝微雨夜中^{ヨリ}雪夜中風雪昼前ナシケレーフ
午後本石灰町錦屋鳳助方ニ訪ニ夜四ツ時迄説話ス
廿五日寒夜風雪朝飯後風呂ニ行シ四ツ半頃ヨリ桶巻
徳見へ行シ不逢夫ヨリ平戸町へ行シ先生トシバテク
モノガタリシテラレドシラフルヘワルセツ後段ル
廿六日朝晴夜當家モチツキナリソーンノメットカシニ

シコニ

。窓アサテ
。ヘツトイ
。クド
。ツラーダ
。ルビ
。人モノヲ
。ルヲ申ス
。ソニガイ
。ソニガイ
。コロブロト
。ウレル杯
。サ言候
。イズイ
。云フ
。サロウト
。大晦
。駕所ノ方
。新所ノ方
。道具見セ
。廻リ見ル
。午後帰宿
。辰事後又
。意仙来九
。須迄談ス
。宵ソラケ
。ニテ唐物
。調物ハレ
。夕飯後稻
。部へ行ノド
。ロードゲセ
。イスコヲ
。イノ子
。コイケラ行
。ノ本蓮寺
。嶋田内太夫
。尋ヌ出會
。ノ朝時

。テ出嶋へ行シ今日日声丸荷穂ナリヒツ半過帰ル
。廿七日朝晴朝ノ内風呂髪結ニ行且前平戸町へ行暫
。時物詣意膳湯次同行ニテ江戸町邊へ行キ烏扇ヲ水
。ム無程帰ル暮前西上町ニ行シ四ツ時帰ル
。廿八日朝晴亘前洗湯ニ行キ即刻帰リ終日在着方
。服装へ行ク五ツ前帰ル

。廿九日朝左折第雪朝飯後平戸町へ行シ意仙同伴ニテ
。案内去
。カワシテ
。アハキキテ
。セカテシイ
。アツカウト
。ゴトキアリ
。ヘゴハ輝也
。セウガカ
。セル
。ドウイチコ
。トモナヌ
。トナル

物詔シ無程帰ル

答人旅中第季

惜情隱者

斜坐障子下空手節季眠一錢無筭用人躁不知年
。さうゆき乃世活と而リルハ古乃一此は曾て來る

事何様のよとくぞ
。あんぐいふりくわざーちく目方底よすぬき
。移のわくひかのむか

在中河野意仙来ル九ツ後返物詔ル新肩ヲ讀ム生ハ
。備前金陵ノ隱士ナリ岡山ヨリ三里東ノ方舟着ナリ
。師家ハ岡山醫官田中意徳トイフ其祖先南董流ノ
。外科ニテアリシカ立百石ニテ富君ニ聘セラル今本科

。仕マウテラク
。アナライテ
。オシトキ
。ソウシタ
。振舞ツクニ
。案内去
。カワシテ
。アハキキテ
。セカテシイ
。アツカウト
。ゴトキアリ
。ヘゴハ輝也
。セウガカ
。セル
。ドウイチコ
。トモナヌ

。ナニダ立ク
コトナノ

。急ノ間ニアリ
スト云フ
。サボラモギリ
ト云フ

。ウワサナ
エタサナ
ツワツ
スエルミル

。カラカキ
テイウニ
ベトウト云
ノタメル

天明六年歲次丙午

正月元朔朝快晴韶景滿四方

東邊遙隔松嶋客西隅偶迎瓊々浦春

白河閑外金華入日觀峰盡瓊洲春

玉浦や可けくちくをふ初日紅

氣や延べ月と長嶺の花り来

主人父子早朝西山御役所ニ申禮ニ出ル終日在扁

日餌四ッ羊頃ヨリ力ケ始ハシテ程ナリ

二日朝左晴経日在扁屋喰稻松河野札ニ来在中意仙

来新居詠

三日快晴朝飯後稻部薛ハ行シ即刻帰リ薛ノ傍ニテ

唐人館内ヘ行吉鳴左十席兩人ノ世誦ニテ館内ヲ

見船主ノ船屋ニテレツカク振舞ル大雅事ニ別ニ
記ス幕前帰ル直ニ櫻馬場吉鳴ノ所ヘ舟ニ行ク帰
リ直ニ稻松醉（行立後帰ル）

四日朝曇雪朝飯後ドロレコ同伴ニテ知音中拾閒余
年札ニ廻ル七ツ半過帰ルドロレコ意仙誇ニ來舟大
工所トイフ所ニ行キ夫ヨリ山行ノ九ツ半過帰ル

五日朝左快晴朝飯後洗湯（行終日在扁眉後服部大
助東ル夜中河野未ル○大坂蕪葭堂ヨリ眉状扁
六日朝左午後微雨至夜霧朝飯後上門（行理舟備同
伴ニテ福濟寺（行キ唐人參詣シタルラ見ル林朝
鑄トイヘル人ニ扁面ヲカキモラウ直ニ唐人山行
不跡ヨリ陪メ行ナ見ル無程帰ルセツ半過ナリ）

七日朝雪霰朝意仙来上門（繪フニニ行シハツ半頃帰ル
諸熊友三弟ヨリ半帝到来和蘭押華ノ脣丸冊モノ
ニテ見ル吉雄佐七ノ本ナリ夜四ツ時帰ル

八月朝晴昨夜中大風雪朝飯後洗湯ニ行終日在扁眉
前六舟備ヲ楠林ニテ尋蓬平戸町（寄早速帰ル
九日快晴阿蘭陀江戸行同勢乍日出立ニテ訊訪社（
參會ノ由出嶋ヘ行ク修理見テ出嶋中一見ス七ツ半
過帰ル夜中地震四ツ頃ナリ

十日快晴早朝河野来朝飯後引地町ヨリ麺屋町五行
シ堀町卒戸町（寄リ九ツ寄帰ル后ヨリ波戸場、
本草見ニ行ク暮方帰ル昂上町（行ク昂帰ル夜中兩
十一日晴朝飯後出嶋（行ク九ツ過帰ル午後引地町（調

物ニ行キ昂刻帰ル大平戸町ヨリハトバ、行ク意仙
ヘ寄ル直ニ帰ル友三郎訪ニ来ル同人同伴ニテ山
行ス意仙新兵衛嬉遊來會

十二日朝曇終日在宿ス暮時ヨリ山平伊惣太、行ノ
志筑忠二郎ニ逢フ四ツ時帰ル

十三日快晴朝飯後鷹介未ル意仙同斬群十郎ヨリ家
見尋来江戸状認ル幕方平戸町、行シドロコニ餓
ス同人同道ニテ伊三次、暇乞ニ行シ饗餐有リ四ツ時
帰リ直ニ稻部へ行キ九ツ時帰ル〇一昨十一日今
川ひ名ヨリニス来ル〇ヲトモトノヨリ扇手械惠
ニル

十四日晴昼前夜在宿、昼後ヨリ平戸町上町へ行シ帰リ

ルケ平戸町ヘ寄リ夜九ツ時帰ル

十五日朝曇細雨四ツ前晴風乍朝蘭入江戸発足唐金堂
迄見送ニ行シ昼後ヨリ堀町へ行シ耕牛子ノ娘未亡人
ナリソレヨリ小嶋今大ニ町へ行シ直ニ山行ス以上テリ
一ヘル阪家

十六日朝涼雪風夜中微雪終日在宿、夜中微雪意仙来今夕
ヘーストル讀ル

十七日快晴七ツ頃ヨリ平戸町へ行シ昂刻帰ル今夕家内
不在留主居ナル傳之進來ル四ツ頃迄物語夜中風
服部、行シ昂刻宵ノ内業内有リ

十九日朝迄快晴終日在宿朝飯後意仙来

廿日朝霜晴カタモ洗湯ヨリ筑町服部へ行酒食饗シ有
リ帰リ平戸町へ行即刻在宿

廿一日快晴終日在宿朝飯後意仙来七ツ年前周倫來夜
中會有リ

廿二日朝霜早朝濱町ヨリ意仙へ行即刻帰ル宿頃意仙
来先生（謁ス終日在宿夜中會有リ）

廿三日朝迄晴後意仙来ルソ、仁テ徳次ト神吉耕菴ノ
弟子周倫源次等並ニ来リ幕方ヨリ山行ス意仙送別
ノ為也○大坂兼葭堂ヨリ年始狀届シ

廿四日朝晴モルゴンストイスクール宿後平戸町へ行夜中
會有リ

廿五日朝迄曇宿後河野暇乞ニ来ルドンブリア惠ベル暮
方上町稻部へ行暮半時帰ル

送河野氏歸鄉

相值已幾日交情一断金印序難分乎天涯故人心

詩シテモアク空ノ如すかくアリルハ再唐の多

別あくゆやうそ夢ん格の志

又別れ代情ノみ佑リ

君とてが薄きちきり何んへりあいあらぬとほう

ひもめく

別益川飲めんと諸事と同一く居間進里み伴ひ佑

居々毎め寄居町の口音くも口ヲル叶和一か酒

ラクレメ

メーストル天神講ニテ堀井十郎（行ノ故ニ夜中會讀
休ミル）

廿六日朝迄夙晴早朝服部ヨリ呼ニ來新地唐人荷渡シ
ニ行ノ為メニ傳藏ト云男ト同伴シテ行キ雇時帰ル
平戸町へ行ク昂刻帰ル夜中會有リ

廿七日朝迄晴朝飯後梳髮平戸町へ行キ昂刻帰リ東濱
ノ町松村正永へ行キ夫ヨリ本石灰町綿屋芳助へ行
キ轉物諸雇舗ヲ被振舞父ハ茂惣次兄ハ茂八郎ト云
ヨシニルタニユスノ治療雇ノ見レ雇時帰ルセツチ周倫
源次来暮方近所ア衣中會アリ

廿八日朝霜朝飯後周倫同道ニテ今町麿屋小田徳ニ

郎ト言者ノ方へ行ク勝田壽軒宿也夫ヨリ壽軒墓所巍
々山光源寺トイア所（詣雇頃帰ル治多傳來同人同伴ニテ
山本伊惣太ヘ行ク暮方帰ル周倫同伴ニテ山行シテ自
軒ノ妓若苏トイア者ニ逢ニ自軒ノ事ニ及ブ妓追念ノ情
不已頻ニ落涙ス

廿九日快晴雇後上町ヨリエビス町平戸町へ寄リ暮方
帰ル夜中會有リ

二月朔日快晴早朝周倫源次濤平久吉同伴ニテ岩谷山
神通寺へ登ル登臨不知因トイール絶景唐ノアト
シ近見ヘ度レ風色甚好セツ温歸ル山上ニテ
春の空見面タマク唐の海
ムカシヒトヲ知リ高木イワヤさん園モモモモモモ

又

佐く一 天狗

ト

登臨地此盡地屋一滄海不知殊方天只青海水在

古登西肥岩屋山

二日快晴朝飯後西上町利兵衛羊藏ハ行キ桶重ハ行ク
留主フレヨリ毛篠忠次郎ハ行ク暫物諸屋後帰ル
在宿夜中會有リ

三日晴曇夜風雨四ツ時過歩尾古町野口古川堀紋清榮
一行何レモ留主辛戸町ハ行ク定ト暫時物諸リ帰ル屋
後周倫来耕庵所ハ連立行吊刻帰ル夜中會有リ

四日快晴朝飯後九臯ハ行ク暫間談屋舗屋後吉雄名
元ハ行キ帰ル服部ハ行ク留主ナリ夜中會有リ

五日快晴微風早朝利兵衛ハ行朝飯後九臯ハ行ク

トテルメースルハレント、ジスヘシセールドロンシスヘルケ
ノ方ハ連レ行キ雇後ヨリ同人同伴ニテ浦上白魚梁
一行フローレキ暮喰帰ル○江戸大火ハ由第婦傳
戻ル直ニ九臯ハ遣ス

六日快晴朝飯後古川野口ハ行面談ノ正十席傳誥ヲ述
ル辛戸町ハ寄ル卯刻帰ル雇過唐人館出火一間余
焼大騒動ナリ大ニ部屋火事場見物ハ行ク夕方周
林來再行シ即刻帰ル

七日快晴四ツ櫛馬場ハ初助吉嶋庄十郎ハ尋ヌ暫
シ物詰シテハッ前帰ル江津東レ神吉耕庵弟季ナリ
備前和氣郡大田原村ハ人ナリ同塾松木玄度トキモ
ノアリ播州尾崎ハ人ナリ岩越濤平來ル兩人同伴

ニテ波戸ヨリ舟ニテ稻佐諸熊ノ別庄ニ行ク、終南山悟眞子ヲ訪ニ唐人並カジタン等ノ墳墓ヲ見ル。暮方帰ル。即刻引地町友藏ヘ行大坂状頼

八日昨夜中ヨリ兩初午雷稻荷聲有リ。實若多シ。七ツ半喰ヨリ平戸町ヘ行ク。源次ニ達フ。同伴ノ舟大工町、行キ夫ヨリ山行レハツ時帰ルトツトセスニール。セスタークノフルリーナ夜中大兩雷

九日雨雷朝飯後平戸町ヘ行ク。昼後九昇ヘ行ク。

十日快晴朝飯後平戸町ヨリエビス所中糺屋町東中町西上町等ヘ行キ。九ツ半喰歸レ。七ツ半喰德見ヨリ神吉耕庵ヘ行シ。暮方帰ル。德見ヘ手紙遣ス。夜中會アリ。徳見ヨリ使者來ル。

十一日朝迄快晴朝立ツ時徳見ヘ行出會フ。館内見物ノ事。頼ム即刻帰リ。兩刀ニテ出テ九昇ニテ出。鳴歩テ待合テ馳走ニナル勝ノ介ヘモ行ク。九ツ半喰江戸町ヨリ同行シテ十善寺ヘ行キ所々見物。七ツ半喰帰ル。服部ヘ寄ル直ニ帰ル。又行ノ酒有リ。九ツ半喰迄ハナス。

十二日快晴早朝涼次来セツ。須神吉ヘ行キ。吉雄ヘ寄リ。帰ル。徳次来夜来同人伴ヒニテ山行ス。ロンテヘルゲニラ。セヤナオイスニテヒケ田ホイスノフレーテト云25ノウ、ルナリ以上八十五段。

十三日朝雨ス。モルンゴレストイスクール。昼後平戸町ヘ行勇治ヘ梳髪シテモテロ帰ル。メーストル夜番雇ノ内涼次物四席来

十四日快晴朝飯後蛭子町源次へ行酒食被振舞后
帰ル留主中村上英冲来ルヨシタ方周倫来ル夜中
會有リ

十五日快晴早朝源次へ帶ノ事賴ニ行昂刺帰ル飯後
^{村志筑橋重}行平戸町ヘ寄リ無程帰ル后村上
英冲來周倫源次徳次來源次同伴ニテ大徳寺へ行幕
前帰ル

十六日曇ハツ過ヨリ兩ハツ過橋重へ行キ勝介へ寄レ平
戸町ヘ立寄リ帰ル

十七日雨曇晴セツ後上町羊藏利多傳へ行昂刺帰リ
平戸ヘ寄リ直ニ帰ル朝飯後主人姫テ来ル雄次走ル
ツシニテ舅姫來レ〇夜中晴

十八日昨夜中ヨリ雨晴戻ノ内九畢へ行ク戻後徳次
離次來暮方ヨリ觀音參詣山行九ツ喰帰ルソナルミン
ドレラシハツセレーキアルテサーメレ¹¹⁷

十九日快晴戻後江濯來続テ物四郎源次周倫來同伴
ニテ清水觀音へ行ク大徳寺臨眺暮方ヨリ坂屋へ行ク
通計百二十歩

廿日早晴ヨリ雨早朝帰ル朝飯後勝介へ行キ月代九
畢へ寄佛シテトロレスベルケノ郭屋へ行ク轄ク開談
治脅ヲ頼ルヘツ喰帰リ九日半ニテ食事暫時ニシテ
帰リ平戸町へ行キ又江戸町へ行キ帰ルソ西雄藏來
ル暮方帰ル夜中會有リ戻ヨリ風雹雪伴ル
廿一日朝風雪朝飯後吉雄へ行キ鍵屋へ寄ル兼調合

即刻帰り、昼頃九臯へ為持農大夜中會有リ。夜中
大雪

廿二日朝晴早朝洗湯、行ノ飯後九臯、行ノ留主也。
筑所服部（寄）即刻帰ル、昼後少西雄藏村上吉昌
来、夜中僕有リ

廿三日快晴朝飯後九臯、行ノ留守也、之内ニ髪結ヒ
貰フ平戸町ヘ、寄リ徳次（モ寄リ）即刻帰ル、夕飯後
徳次平戸町ヘ、行ノ七ツ半頃帰ル、幕後ヨリ徳同行
テベルジガーン103メーストル夜席

廿四日朝微雨早朝ケール洗湯飯後筑所ヨリ江戸町
迄行キ帰ル、終日大雨、昼後徳次江濯来夕方大野庄
多十方ヘ行ク酒宴有リ、通次席ニ達ア

廿五日朝雨歇終日終夜大雨、朝飯後梶嶋町ヨリ江戸
町ヘ行シ友三郎雄藏徳次来、夕方藤平来夜中天神講
ニテ客アリ

廿六日雨終日在宿雄藏徳次来

廿七日雨朝飯後江戸町ヨリ吉雄（行ノ波戸場）ヘ立寄
廿八日快晴朝飯後梶嶋町ヘ行キ江戸町（行シ九臯同伴
ニテ出嶋（行キドロレスノ谷駢ヲ見ル、昼頃帰ル、昼
後江濯徳次藤兵衛暮方達夫ヨリ呼ニ來ル三人同伴
ニテレヰキドノホイス（行シ酒宴有リ

廿九日快晴午暁帰ル、徳次来、昼後上町平戸町（行シ七
前ヨリ徳次同伴ニテ卫ビア所ヨリ酒屋町油良養
的、尋ヌ暮方ヨリ山行ス百四十々

晦日雨午暁帰ル朝飯後九臯ヨリ平戸町へ行キ即刻帰

川原次徳次来此衣山行百六十支

三月朔日雨午暁帰ル洗湯梳髪徳次友三郎来幕方大坂

江戸狀届ク

二日雨朝飯後九臯へトロレスノ茉持行キ即刻帰リ服
部松栄英冲方（ヨリ子帰リ事後左衛暮方迄徳次来り
居レ暮後ヨリ三十席方へ行キ四半過帰ル

上已雨朝飯後徳次来雇ヨリ中村政右衛門へ行フ馳走有
リ帰リ早速吉雄楠林（行キ夫ヨリ在宿

四日晴朝飯後九臯へ行シ直ニ帰ル雇後原次昌永雄次徳次
等來

五日朝微雨早朝上町羊藏理兵衛（行キ平戸江戸兩町へ

寄リ帰ル雄藏周倫徳次来

六日快晴早朝洗湯行飯後九臯ヨリ服部（行キ夫ヲ
リ綿芳（行キ雇歸）掛服部（寄リ帰ル雇後波
戸場藤岳衛（行キ帰リ上町羊藏（行シ暮方帰ル
衣外不出四過帰ル

七日快晴朝ノ内服部（行キ施嶋（行キ帰ル飯後江
戸町へ行シ出嶋（行シ七ヶ岳清水觀音並行キ直
上町羊藏（行キ服部松村（行キ暮方戻ル

八日快晴早朝松村（行キ同伴ヲ頼ム飯後九臯ヨリ呼
ニ來出嶋（行キ雇後帰ル

九日快晴朝飯後上町平戸町波戸立兵衛佐七（行キ九
臯（行シ今日森崎務事（雇歸ル留主中松栄来

松栄所へ行キ愈同伴申合セル江戸狀力キヤ、頼山馬田
清吉(寄リ)同伴申合衣中智古大野ヤニテ志筑忠二
ニ逢四ツ哨迄物語

十日快晴朝飯後江戸所(行キ出嶋(行シ昼ヨリ稻佐)
行キ暮方帰リ九皋連レ主別ヤ(行キ投宿)

十一日快晴今朝帰宅朝ノ内筑所材木所平戸所邊ヘ
行キ昼後左扁衣中徳同行ニテダハン投宿十五度107
タール

十二日晴朝ノ内上町蛭子町江戸町(行キ帰リ九皋(行キ
出嶋(行シ昼ヨリ波戸ヨリ舟行友三郎周倫藤兵衛四人
暮方稻佐(上リユツ噴迄別宴ソレヨリ大黒町(上リ大野ヤ
ニ幕集四ツ後戻塙(行キ帰ル

十三日昨夜中ヨリ雨朝飯後馬田(行ク懇意ノ方不暇暇
乞夜会有リ

十四日快晴朝飯後出嶋(行キハツ噴迄居ル帰宅後上町
行キ帰リ夫ヨリ左扁衣中離杯有リ酒肴(行フ吉雄(モ
十五日朝雨朝飯後松永(行シ夫ヨリ源次(エキ上町(行シ
旅人方帰國届済昼ヨリ九皋同伴ニテ出嶋(行キ蘭人
ト同ク食盤ニ就キ彼方ノ料理ヲ食フ雅致不可言トロ
ンスヲ始メ牠蘭(暇乞シテ別レラ告ケテ帰ル
十六日晴昼後ヨリ雨九ツ噴吉雄(行シエ藤一件物語レ饅
別有リ源次徳次藤平周倫等東石灰所ニテ離益夫ヨ
リ山行十六百八十九

十七日朝微雨昼後九皋ヨリ波戸場ニ寄ル政左衛門忠次

席等ノ尋丈

十一个日快晴微風、昼夜ヨリ徳次誘引ニテ大徳寺へ行シ同行
由良養的銅坐印ヨリ伊崎要八小西雄藏等ナリ且後
過ル

十九日晴昼夜上町へ行シ暮方梅溪ニ寄リ宴集ユツ噴帰ル
廿日晴昼夜ヨリ兩和蘭八人市中出有リ平戸町へ寄ル夫
ヨリ唐寺ガラス一ケルニ寄リ稻佐丸兵衛ノ弟屋
渡ル余モ幸作子ト歩ニ行キ同ノ食盤ニ就ク大雅會席
前帰ル

廿一日雨在宿夜分タハシナセ百九十

廿二日晴朝ノ内杉村販部江戸町等へ行シ九ツ前九臯同
伴ニテ出嶋へ行キ七ツ噴帰ル上町半藏へ被招行ノ薦後

帰ル予十、寄ル夜中徳次雲次席来ル留主中後藤町又左
衛門雄藏来由七ツ過英冲来ル五十韻ヲ惠ム
廿三日朝晴朝飯後平戸町へ行シ源次ニ達フ同人蛭子町へ
同伴ニ離杯ヲ酌ハツ時帰リ直ニ九臯へ行シ暮節帰ル
夜行宣居肥自慢ノ主ニ贈ル
テクニメヌ吸ヒよりれどあひく水すきをもつて有
テナラウト

廿四日晴朝洗湯飯後高石才助来胡椒ヲ惠ム九臯ヨリ
所ニ來出嶋へ行シ惣蘭別レラ告ノ七ツ噴帰ル夫ヨリ平戸
町上町立行キ暮前帰リ大野屋ニテ暮集夫ヨリ間走四ツ噴
帰ル

廿五日快晴朝飯前上町へ暇乞ニ行諸所暇乞廻勤門送ノ

東坂下道中

人追シテ來木木衣番アマハタシ、内暇乞衣アマヒタシ、噴荷物取仕舞源
安德次手傳ハツシテ後ヨリ大野屋オノヤ、行フ友三席待合諸子同
シ離杯シラビヲ酌スセツ後帰スリ徳源來スリ止宿曉ハツシタ時噴發

廿六日晴四後ヨリ曇午時ヨリ雨明ラツ時徳源見送スリ東
濱シマ所移村昌榮宅迄行スコヘニテ別レバ告ス昌榮父子ト
長崎ナガシマヲ發ス見送リノ人大勢有リ櫻馬場サクラマツバヲ過キテカラ
カニ堂カニドウヲ過キテ吉雄先生ト源吉トニ逢スワレラヨリ先キニ
キタル由シ周倫雄次定次席等瀧參ラヨウリニ行ス兼テ金カネヲ
見送リノ為メナリ瀧觀音閣帳ラヨウケンモンカザニ参詣ス男女多シ日
日見峯ニ去
未碑アリ
君ムヨリ
すれども
至一花序
赤木碑文署

觀峯臺カニドウアバニキ嶋シマノ景色ヨシ日見驛矢上宿ヤシマツカニ至ル
周倫等金カネヲ待合せ離杯シラビヲ酌スリ同伴見送リノ人モコ
ノ驛ヤシマツカニ離杯シラビアリテ別ル此宿ヨリ喜ノ津ハシノツヘニ里此

被杆郡長崎

ノ人ノ由

所ヨリ大村オシマ、船路三里ミツリヲ乗ル海中兩色佳大村城オシマノシタ及
ニ諸嶋卫エウ嶋トイフ圓カクニ嶋アリセツ過大村驛ヤシマツカニ着ス
向キリノキヤコト向キリ
クラスクルウノモノイケ
ナリ笑齋吉
ナリ大村言葉
長崎廻ハシマツカニ

宿

佐境子サケンコの不凡ハブおハミ候ス

歎多力ハタツシタチのひくハクかひあスれスれスちうて

伊夢高射天花

左白方シロカタサクウナシ而シテヨシのモトニシシテ花ハの旅

宿スカ

龍リュウの觀者多詣スカ男ヒメレ連ス立スく

時ハ春ハ秋ハ冬ハ色季シキ花ハの旅

（直スアリ而シテナリタルハ

思スひ季シキ度ハの兩ツや花ハの雲

大村ノ婦人面
色走鮮潔白
テ艶美土地
ニ産唐無キガ
故ナシニ一婦
人駆角ニ九勢
金行シ見
眉目極端娟
恋するも積
面と有りナ
才人ふ重り
ちうじやと
思ふ事を
大村の名君
重るものと
云ひまわら
也

廿七日朝曇四墳ヨリ晴先ノ宿ノ井川トイフ所満木ノ
申ニテ此驛ニ逗留當君ノ菩提所北ノ方ニアタリ
本境寺トテア所シ行ク代ノ石碑何レセ右サホ石カ
サ迄壹丈斗臺石四段三段メハ壹枚石ニ一枚ニ鼎竿石
幅三尺壹す金臺一番壹間ニ番八尺三番壹丈斗大
ソフナルモノナリ南ノ方ニ城ノ入口アリ城門ニ入ルア
許サズ西ノ方瀆邊ニ新庄ト云フ所アリ賊坡アリト
云フ

廿八日快晴晚六ツ時發大村城下ヲ離レシト僅ニシテ櫻馬場
トテア所アリ下レハ右ノ方片側土手ニ並櫻ヲ植レシ十
町余中ハ平面ノ馬場ナリ傍ラニ領主遊宴ノ館アリ
町ノ真中ニヤ闕有リ左ノ方ニ大松有リ鹿崎ノ松ニ似
し也

タリ放虎ノ松ト云ノ凡テ此邊ヲ放虎原ト云ヨシ松原
驛ニ至ル此間ニテ蟬聲ラキシ水川ト云川アリ夫ヨ
リ程十シ海ヲ在リニ見テ通ル風色佳ナリ鹿ノ嶋ト云
崎海邊ニアリ此脇ニテシハシ休ニ鰐網ヲ引クラ見ル
千和多ナト云フ所ヲ過テ園木ニ至ルコレヨリ嬉野ニ
行コノ間ニ猿坂ト云所アリシス、大木アリ嬉野ニ温泉
泉アリコレヨリ塙崎^屋此間山坂アリ途中ニテ高
嶋嘉一席ニ逢ニ木木狀ラ届ケル塙崎ニ暮前温泉
ノ名処浴大湯ノ上ニ石山アリ宿志田雲平父ハ志田
道益ト云ニシカ青年八月死大

廿九日快晴明六時發渡辯ト別レテ告ノ北方エ行ク
高橋ト云合ノ宿アリヤ田丘ノ間塙田街道追分ア

リ福母寺所大所ナド云フ宿アリ牛津ニ二里楠觀
音トテ老メル樟ノクチタル所ニ馬頭觀音ヲキサエ
堂ヲ甚前ニ作りカケタリ少田ノ觀音ト云フソレヨリ
徳万ハセツ加瀬川大ト云令ニノ宿ヲ經テ佐賀ニ至ル
長キ町ナリ立丁ト云フ甚メソソウナリ城ハ右ノ方
ニアリ肴野町ヲ經テ神崎ヘ暮頃肴此廻ニテ農具
水車ツルベヲ遣フヲ見ル

四月朔日快晴曉神崎ヲ発シ中春町迄馬ニ跨ル裏田
代原田ト行過キテ太宰府へ行シ此間ニ里天滿宮
ヘ参詣シ同伴ノ人ハ此所ノ問屋場大野屋ト云宿
ナリコレヨリノ夜ハ福岡へ行シ此間ノ道立里許ニ
水木サツシヨノシベナド云フ处ニ至ル此所ニテ馬ヲ

カリ福岡人ト同馬シテ福岡ヘ立ツ半頃着直ニ南湊
堂ヘ尋ヌ留主也此所ノ門生ノ板ニニテ同レ唐人町ノ
内木屋某ト云フ小家ニ舍ル

二日快晴早朝龜井ヘ尋ヌ先生相見シ暫シ閑談ス耳
棠館ト云新築ノ学宮ヲ見ル學則ノ額文行忠信ト
云フソウフク寺和尚ノ額アリ龜井ノ弟ノ由生ハ
元ト好瀆ト云所ノ產ナリ兄弟三人姉ハ姉ノ瀆ノ
豪家ノ妻ナリトキフ先生近頃名ア主木ト改ム肩
ヲ請フ金印紙ヲ惠ム此所ヲ四ツ喰発ノ博多へ行シ
一大都會ナリ町數百八丁ト云フ福岡ハ廿八丁大
名町本町杯貴族ノ居宅アリ箱崎ニ至リ松原貳十
丁キアリ箱崎社へ詣宮前ニ箱崎松ト云大木アリ

かやりしまる

るんせん。

傳承所

うかの多事

らんくわす

わんくわす

ゆてかうて

あらじこみ

めでかうて

ふらじこみ

おうとみ

辞ウトカイ

タマヘ

肥前の方

馬ラ罵ル

あのかき

とひか

さんせん

水病の通

瀬ノ方ニ石ノ鳥井有リ此所ニ至リ海面ヲ見ル箱崎ヨ
自首柳へ行ク此間香椎宮アリ鳥井ヨリ七町斗リ
入り官へ参詣大神皇后宮ヲ祭ル社ナリ石壇ノ下ニ
神木綾杉ノ大木アリ中斷ノ立葉ヨク葉重ル此所
ノ下リハベウトタノ处ニ至ル此レ近ノ左方ノ海上ニ海ノ
中道鹿鳴其外ノ小嶋多ク見ユル左リニ甲場立花ノ
城跡三峯十リ青柳ヲ經テ畔町赤間へ暮過着サヌ
キヤ徳次郎カ許ニ宿ル

三日快晴明ケ喰菴を肥後球ノ參官人貳人トツレ立テ
直道ヲシテ黒崎ノ一里手前ニ歩ル此所ニテ同伴
ノ人ニ出魯ニセツ過小倉船頭町雪見山鉄石壁門カ
許ニ舍ル明朝長崎狀歩ス積ニテ書簡認ル

上船

四日快晴昼前小倉町中ヲ巡覽ス天満宮ノ社ニ詣文
明十一年ノ石燈アリ中津へ出ル口エ行キテ昼喰
綿屋芳助着一所ニナル博多ニ十四立日逗留ノ由
亘喰舟ニ乗組ハ兵庫廣嶋屋善吉船ナリ舟中左リ
筑前ノ白嶋見エルモツレ嶋長仲ノ地ニ田ノシビ福浦
イガキ等見エル向ニ乾珠満珠ト云フ嶋見エル閑
庭町中稻荷所中ヲ一見シ阿弥陀寺ニ詣安德帝并
ニ平家諸貴族等ノ像アリ奉ク縁起ニアル故累々同
船渡辺吉左衛門主後松村三人綿芳余以上七人
船主四人ナリ善吉伊八長兵衛定立席伊之助住吉
たト云フ

立日曇晴昨夕ハ船ニ舍ル暨頃度レ丘ニ上ル菊屋ヤ

宿小倉屋トイヲカ所ニテ長崎喜太郎酒宴アリ
福浦屋ト云名物蕎麥屋ヘ行シ暮過稻荷町揚屋ヘ

船主伊ハト同行スタバコヤト云内ナリ十六支

劉文幸
ナラヒテお
おノ室と云
席后の子一
楊柳の子店
モウシナキ
モフジンカラ
ミンの敷か
タ葉一

六日快晴今朝トイズケール暨後ヨリ西沢雄朔芳嘉喜
太郎小倉屋於縫等ト住吉宮ト云處ニ行シ閑闥ヨリ一
里余ト隣エ今日卯ノ日故參詣ノ男女多シ鐘樓ア
リ此鐘播州尾上ノ鐘ト同製ナリト云天人四人左右
捧ノアル处ニ花紋アリ門前ニテ酒ヲ酌ム幕喰帰
ル此所ヨリ長府ヘニ十八町

七日快晴今曉風順ヨクシテ今夜七ツ時藝州領ノ
鹿老渡ト云ノ鳴浦ニ着闕ヨリ五十里許暨七八時上

園迄着下園ヨリ三十里ト云
八日快晴今朝鹿老渡浦ニ上リ一見ス民家路程アリ
坂家モ一二軒アリヤ杜ニヶ所ニアリヨキ景色ナリ
廣嶋ヘ八里宮嶋ヘモ同シト云ノ立前此所モ發レ海上波穩ナリ伊豫見エルセツ時少牛窓ヤ豆嶋八嶋見
エル

九月快晴朝備前ノ大ダグラ発ス暫シニテ播州地ニ入
リ布穂ノ坂見エル矢倉四ツ川口ト云處アリ左リノ
所ニ鹽ヤキ場有リ右ニミサキト宮地有リ風色佳キ所
ナリ坂越ト云處見エ牛窓ヨリ室ニテ十里ト云ノ室津
ナリシテ頃着岸此所ヨリ芳助余並ニ同船ノ人筑前安郡
耳木ノ人藤兵衛三人ニテ播州名所廻リス室津粟瀬

ナリ開ノ羊ヶモアテシカ町ハツレヨリ直道海邊石山
シ不細道ヲ通ル海上ノ風色甚タヨミ一ノ浦ト云处
ニ着ソレヨリ田舎道カタムラ山田邑アボシト云处海
盡ニ見ニヨキ所ナリ山田邑ノ次ノ村モアガニノ内ノ由
此所讚岐毛龜鎮川ニ渡ル一ツハイボ川ト云ノシリフチ
ナリソレヨリ小田ノ原龍馬鎮ソレヨリ青山ニキサイ
林云所ヲ經テ書写山下西坂ノ方坂下ト云處ノ民家
山田屋十五郎ト云カ許ニ暮方舍ル龍馬ヘ三里姫路
ヘ五十丁此宿ニ但馬ノミノウリ来ルヒルリト云ノ草
ニテ作ル由レ木ノ崎ノ湯元近所ト云所ニ生スル
艸ナリ湯元ヘ三十里余ト云ノ此所ヨリ書写山ヘ上リ
十八丁

十日快晴
十一日快晴
十二日晝前雨后ヨリ晴
十三日快晴
十四日快晴
十五日朝大曇
十七日晴幕方ヨリ大和雷
十八日朝曇折々雨
十九日雨止ヨリ晴
廿日快晴
廿一日快晴

上船
九月大
坂着

淀川夜船

京都

廿二日

廿三日

廿四日曇扈ヨリ兩

廿五日朝兩扈ヨリ晴朝立時發ニ一茶臼川橋ヲ経テ
毛アケ大津へ着兩不止草津へ行此所ヨリ木曾路
別レ守山ヘ七ツ過着鍋屋安井傳トイフ今日途中既
琵湖ヲ西ニ見矢橋ヨリ石山ヲ左ニ見ル膳所ノ城
下ヲ過

廿六日晴朝六時守山驛ヲ發ニ武佐ニ至ル此間ニ仙
臺領有リエ千川高官鳥木近ノ間ニ少斯トイフ所有
リ夢想ノ賣茶有リ四十九院ト云所有リ其前ノ令
ノ宿ニトフ細ユテスル所アリ此邊大名旗本入文ノ領
地也鳥木ヨリ番場ノ間スリ針崎トイフ所有リ臨

湖堂ニテ西ノ方湖水ヲ見ハテ之風色画裏ノ如シ
別ニ因ス清人朝鮮人聯額アリ一望廣懷トキ額湖
山奇勝行客忘歸トキノ聯アリ矣ニ諾ノ如シ嘎玉
葦山陰進士萩元愷ト云額有リシハシ懸ヒ山坂ヲ
攀過キテ番場ヲ經醒井ニ暮方ニ着ク樋屋善九市
ト云カ許ニ舍ルスリハリノ下迄ハ京都ヨリ平地
ナリ

廿七月朝兩扈ヨリ晴六時醒井駅ヲ發ニ柏原ニ至ル江
漫兩國境寢物語トキノ所希屋七八間立並ニ軒間
セナリ午須闇原垂井青野ケ原音墓ニ至ル義經
ノ芦照平ノ清水青墓ノ長カ墓有リ赤坂御影寺河
渡船渡シ暮方加納宿ニ着永井伊賀殿城下ヨキ所ニ

トコトコアリテの旅や両舎

廿八日快晴ニ時立鶴沼ヘ着土山ノ城見ニル觀音山前
木曾川後口ハ石山風色甚佳太田ヲ過太田川川渡シ伏
見御嶽ヲ經細入手ニ暮方着此間山坂アリ加納ヨリ
近江乞上方

言葉也寝
物浦多
美濃路入
リテハ吉諾

宿別々
チウニオルトキス

松板カク
老一アツラ

カコワル、貞
ニレナス

廿九日同六時立大久手近ノ間宿ノ入戸ニ大井川アリ
中津川ヨリソレヨリ落合何レモヨキ宿ナリ左布高
山峠ニタリ落合麻古女ノ間ニ美濃信濃ノ境アリ
暮方麻古女宿八幡屋某カ許ニ舍ル
晦日朝迄晴朝過發妻籠三戸野ヲ經野尾ニ行ノ左布
懸シニノキ山ナリアケロカ嶽見ニコ一ヶ嶽ノ雲峯見
ル妻籠ノ八丁手前ハシバト云フ處ニテ次戸衛門ノ

十二里ト云フ宿屋笠屋

妻ニ別ルコレハ服道ヨリ飯田塙尾ニ出ルト云フセツ半
頃須原驛西尾次郎左衛門カ許ニ舍ル須原驛ニ木曾
義仲公開基ノ寺有リ義仲公ヨリ十七代後伊豫守
義昌ノ時没落ス義仲ノ植タル櫻有リ如意菴有リ
五月朔日朝迄微風快晴暑明六時起ニ三里程行キテ
寢覺ニ至リ臨川寺鳥井ノ左ノ脇ニテ憩ニ名代ノ喬
麥ヲ喫ソレヨリ寝覺山ニ至ル前川ノ風色佳畧
録記有リ無程上、松ニ至ル木曾ノカケハシヲ過キテ
上ヶ松ニ着ソレヨリ福嶋ニ至ル紀伊ノ大夫朝比奈
惣左衛門ト云人下リニテ人馬滞ル止ムトナシ一里
半先キノ官ノ脾舍ニ行キ七ツ過同所屋カ
許ニ舍ル須原ヲ出テ、後ハ山ノ勢稍シロキノ道

幅モメニニロニ御山嶽見エル駒ケ嶽右ニ見テ通ル

千日朝涼快晴朝六ツ時官ノ腰ヲ發シハ丘原奈良井ニ至ルスリモノ賣家多シ贊川ノ間ニ獸皮熊膽等ヲニサク屋村平沢片平林トニ所アリ贊川ヨリ本山ノ間櫻澤ノ橋アリ此所岐嶺ノ境ナリ西ハ尾丹領東ハ松本侯御領所ナリ此宿ヨリ櫻波ニ至ル宿ノ入口ヨリ火事見エ瀬波宿中燒失依テ跡ノ驛ヘ戾リ本山松本屋ト云フニ泊ル八丘原邊ヨリハ次第ニ山低ク稍ノ打ニテキテ田地モ有リ今日ハ七里ニノ舍ル先キノ宿失火ノ故ナリ炎シ行キ戻リ九里ノ道ニ三日快晴正六時發瀬波ニ至ル驛中過半ヤケル去左ヤケテ新築ノ舍僅ニ残ル瀬波ヲ出テワツカニノ

左ノ方ニ善光寺ヘノ別レ道アリ廿一里ト云ノソレヨリ平地ダンクウチヒラシ桔梗ガ原ヲ經テ鹽尻ニ至ルコノ處ニテ田嶋ノ毒ニ逢フ昨夜四ツ娘着ノ由ニ毒籠ヨリノ興道三日ナリ大難所ノヨレソレヨリ諷訪ヘ越シ此間山坂ナリ左右ハ漸シ開キタリ諷訪ニ近ク湖水右ニ見エ向フニ諷訪庚城見ユル下諷訪ヨリ一里ト云ノカノ所ニ諷訪ノ社アリト云乃チ甲冉道ナリ諷訪ニ至ルヨキ处ナリコレヨリ和田峠上下大難所ナリ雪山見エル道ノ傍テ所ニ殘雪アリ桃櫻ナド今盛ナリ即今河畔水開日正是長安花帝時ノ詩ニモ同干寒國ナリ向フニ淺間嶽見ユル此ニ立場ニ所アリ石道ニテ甚々難險ナリ幕前和田嶋屋儀石衛門カ許ニ舍ル

Moen moekerb hoid
sy uu last

美濃路知
久手ノ島ニ
テイツウノチ
ヲイグバト
モブ一軒用
ルイツツクレ
ツラ 東言葉文

Dekat klapst gtu krullen
van de treep.

シイボキハ長。
ツヨヒテ泥ナ
ナリ

ケノ秋石夥レ田野荒地多シ峠ニ關門有リ信上ノ
境熊野社アリ此山中右ニ秋義山見ニル左右ノ山々
砂石フリツモリ樹木悉ク枯レテ一木モ青葉ヲ見サル
ト輕井澤ヨリ坂本迄ノ間ナリ宿ニ次上ソ新築ノ家
多シ今日朝ノ内天地晦冥ナレハ殊ニ三年ノ事ヲ思
ヒヤリ身ノ毛ヨタツキナリ妙義甚タ峻険ニシキ山
打ツツキタル山ナリカツシヨウ坊坐主トシツ坂本ヲ出テ、
松本安中田圃多シ打ヒラキタル处ナリ暮前板鼻ニ
至ル旅寓武藏屋

六月朝微雨量頃ヨリ晴曉七ツ過板鼻ヲ發シ高崎ニ着
町ノ入口川アリ城見エルヨキ城下ナリ倉ヶ野新町ヲ
經テ神奈川ニ至ル水ナキ河原ナリ武藏上野ノ境

Repaard viel poeten,
maar strafker wende,

四日快晴晚方風明六時發シ中人保右京坂ヲ上リ下リ
戸田望月ヲ經塩奈田岩村田ニ至ル内藤侯ノ在處
ナリ一万五千石トシナト田井追分ニ暮前^著加賀屋
ニ居ル町ノ戸ノ方ニ善光寺道トシテ此日淺間山ヲ
左ニ見テ通ル絕頂煙立ヒル馬士ノ曰シ四月八日ニハ
土人登山スルヨリ麓ヨリ三里余頂上一里ノ先アリ
深サ知レズ底ヨリ烟立ツヨシ小井田ヲ出テ追分ニ
至ルノ間曉野ナリヤケ石ヲシナリ此旬追分篇ニテ紙
舊シ上ケル二月ヨリ今月ニ至ルヨシ他ニテキツナリ淺
簡半伏ノ谷間ニ雪見ニル

端午朝在風折レ徹兩晚方晴追分ヲ發スルト朝・羊
時皆掛テ經テ輕井沢ニ至ル此間天明三年ノ後開メ

サムシスヲ
カノ作者凡其
ハ魚賣人也云
シノハシ
士立身土道
基要省三
慶世不ル
か房不ル
故鄉不ル

*alto Lat amper
似テトト*

本庄ヨリ岡部ニ至ル安部堤津守殿陣屋アリ十八
テトテナ庄ニ岡部ノ六郎太忠純ノ舊跡寺アリ深谷
驛ニ着フレヨリ熊谷驛エ暮節着カヘ屋某カ許ニ
舍ル今日ノ道中平地家ツヘキナリ庄ハ北上冲山
右ニ秩父諸山見ユルウテロヲキタル田園ナリ旅
寓ニ着テ刷髪ア松村ヘ賴ム戻ルス
西東四方むんううううさげてだけ皮をバタカ
おいて行く
あら無左の宿あれハ
秋あきハかつあくゆもまかくとちうてちぎり
人ふくさぐ

七日晚前ヨリ大雨四ツ音晴熊谷ヲ明早ヒ立吹上トイフ

合ニノ宿ニイタル鴻ノ第ニ四里桶川上尾大官浦和
ト過コヘテ蕨ノ宿ニ暮前着岡田市右衛門カ許ニ
宿ル

